



目次

- 改訂情報
- はじめに
 - 本書の目的
 - 対象読者
 - 用語解説
 - 前提条件
- インストール・環境設定
 - スタンドアローン構成
 - intra-mart Accel Platform サーバでの作業
 - IOWebDOC のインストール
 - ライセンスの再登録
 - 環境設定
 - Java I/F の配置
 - レイアウトデザインツールのインストール
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成
 - テナント環境 の構築
 - 元号のマスターデータ変更
 - 分散構成
 - intra-mart Accel Platform サーバでの作業
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成
 - テナント環境 の構築
 - PDF帳票サーバ での作業
 - IOWebDOC のインストール
 - ライセンス登録
 - 環境設定
 - JDK のインストール
 - Apache Tomcat のインストール
 - Java I/F の配置
 - warファイルのデプロイ
 - Apache Tomcat の起動
- IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter からの変更点
- アンインストール
 - 帳票エンジン（IOWebDOC）のアンインストール
 - Windows Server (64 bit) 編
 - IOWebDOC のアンインストール
 - 環境変数の削除
 - Java I/F の削除
 - Red Hat Enterprise Linux (64 bit)編
 - アンインストール
 - Java I/F の削除
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform のアンインストール
 - PDF帳票サーバ のアンインストール
 - 作業前に...
 - Javaランタイムのアンインストール
 - Tomcat のアンインストール
 - IOWebDOC のアンインストール
 - 環境変数の削除
 - Java I/F の削除
 - レイアウトデザインツール（IOWebDOC）のアンインストール
- 付録

- 帳票デザインツール・連携エンジンバージョン
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Summer
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Summer
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Winter
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Summer
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Winter
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Summer
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2015 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2014 Spring
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2013 Winter
 - IM-PDFDesigner for Accel Platform 2012 Winter

変更年月日	変更内容
2012-12-21	初版
2013-12-20	第2版 下記を追加・変更しました。 ■ ドキュメント全般 Windows Server 2012 向けの記述を追加
2014-04-01	第3版 下記を追加・変更しました。 ■ intra-mart eBuilder for Accel Platform との連携方法を追加
2014-12-01	第4版 下記を追加・変更しました。 ■ ドキュメント全般 Windows Server 2012 R2 向けの記述を追加
2016-02-26	第5版 下記を追加・変更しました。 ■ Linux版 IOWebDOC セットアップファイルの拡張子を[tar.gz]→[tar]へ変更
2016-08-01	第6版 下記を追加・変更しました。 ■ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成」を追加 ■ 「テナント環境の構築」を追加 ■ 「【補足】 IM-PDFDesigner for Accel Platform へのバージョンアップ手順」を追加 ■ 「【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法」を追加 ■ 「【補足】 帳票エンジン (IOWebDOC) の差し替え手順」を追加
2016-12-01	第7版 下記を追加・変更しました。 ■ 「【補足】 intra-mart e Builder for Accel Platform との連携方法」に「上記を設定をしてもエラーとなる場合」を追加
2017-08-01	第8版 下記を追加・変更しました。 ■ IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform の記述を追加 ■ IOWebDOC (3.x.x) の記述を追加
2017-12-01	第9版 下記を追加・変更しました。 ■ 「設定ファイル」を追加 ■ 「intra-mart Accel Platform サーバでの作業」から設定ファイルに関する記述を削除 ■ 「warファイルのデプロイ」に IM-LogicDesigner連携 のwarファイルに関する記述を追加
2018-04-01	第10版 下記を追加・変更しました。 ■ 「IOWebDOC のインストール」を修正 ■ 「IOWebDOC のインストール - Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編」を修正 ■ 「PDF帳票サーバでの作業」を修正 ■ 「Red Hat Enterprise Linux (64 bit)編」を修正 ■ 「IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter からの変更点」を追加
2018-12-01	第11版 下記を追加・変更しました。 ■ 表記のゆれを訂正

変更年月日	変更内容
2019-04-01	第12版 下記を追加・変更しました。 ■ 「元号のマスターデータ変更」の手順を追加 ■ 「Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編」を修正 ■ 「Windows Server (64 bit) 編」を修正
2019-12-01	第13版 下記を追加・変更しました。 ■ 「帳票デザインツール・連携エンジンバージョン」を追加
2020-04-01	第14版 下記を追加・変更しました。 ■ 「帳票デザインツール・連携エンジンバージョン」を更新 ■ 「プロジェクトの新規作成」に「アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。」と追記 ■ 「ツール画面」の識別子の記述を変更
2020-08-01	第15版 下記を追加・変更しました。 ■ 「帳票デザインツール・連携エンジンバージョン」を更新 ■ 「前提条件」の IOWebDOC 1.x に関する記述を削除 ■ 「用語解説」の構成を変更 ■ 「IOWebDOC のインストール」内のエンコードに関する記述を修正 ■ 「Java I/F の配置」内のコードの誤りを修正 ■ 次の記述を「IM-PDFDesigner for Accel Platform 移行ガイド」へ移動 ■ 「IM-PDFデザイナー Ver.7.x 以前で構築されたシステムを IM-PDFDesigner for Accel Platform へバージョンアップする際の手順」 ■ 「既存システムの多言語出力への対応手順」 ■ 「帳票エンジン (IOWebDOC) のみ差し替える際の手順」

本書の目的

本書では IM-PDFDesigner for Accel Platform のセットアップ手順について説明します。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform のセットアップを行われる方

本書は、IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用するための手引書です。以下の利用者を対象としています。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform を新規インストールする方
- IM-PDFDesigner for Accel Platform へ移行する方
- IM-PDFDesigner for Accel Platform で開発する方

用語解説

Resin をインストールしたディレクトリ	%RESIN_HOME% と略します。
-----------------------	---------------------

Apache Tomcat をインストールしたディレクトリ	%CATALINA_HOME% と略します。
-------------------------------	------------------------

IOWebDOC をインストールしたディレクトリ	%IODOC% と略します。
--------------------------	----------------

前提条件

リリースノートに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

詳細は「IM-PDFDesigner for Accel Platform リリースノート」を参照してください。

また、本製品のインストールと運用にあたって、下記の技術および知識が必要になります。

- オペレーティングシステム
- ファイルシステム
- ネットワーク（とくにTCP/IP関連の知識）

なお、本製品をご利用になられる環境についても、事前に把握した上でインストールを開始してください。

インストールに際しては、下記の事項に関して事前にチェックすることを推奨します。

- intra-mart Accel Platform サーバの構成
- intra-mart Accel Platform および関連ソフトウェアをインストールしたディレクトリ
- intra-mart Accel Platform Storage領域
- intra-mart Accel Platform ディスクの空き容量

本書は、以下に列挙する技術に関する知識を有することを前提として構成されています。

これらの技術に関して不明な点がある場合、本書の内容を正しく理解することが困難になりますので、

予めご了承ください。なお、前提知識となる技術に関しては、一般の専門書籍等を参照してください。

- Javaプログラミング言語 / JavaScript言語
- Java ServletおよびJSP
- オペレーティングシステム
- intra-mart Accel Platform

PDFファイルを IOWebDOC (3.x.x) で出力する際には、フォントの埋め込みが必須です。

フォントを埋め込むことでPDFファイルで複数フォントを扱うことが出来ますが、

フォントを埋め込む分PDFファイルのサイズが大きくなります。

IM-PDF Designer for Accel Platform には 標準版 と FullPack版 の2種類のパッケージがあり、パッケージや使用するモジュールによって、構成が異なります。

パッケージ	モジュール	機能	構成
IM-PDF Designer for Accel Platform （標準版）	PDF Designer	PDF帳票出力機能を提供するAPI	スタンドアローン
IM-PDF Designer Full Pack for Accel Platform （FullPack版）	PDF Designer	PDF帳票出力機能を提供するAPI	スタンドアローン
	IM-LogicDesigner連携	PDF帳票出力機能を提供するIM-LogicDesignerのユーザ定義	スタンドアローンまたは分散
	REST Service	PDF帳票出力機能を提供する分散構成用のAPI	分散

IM-PDF Designer for Accel Platform におけるスタンドアローン構成とは、intra-mart Accel Platform サーバ に帳票エンジンをインストールする構成を指します。分散構成とは、intra-mart Accel Platform サーバ とは別に PDF帳票サーバ を構築し、PDF帳票サーバ に帳票エンジンをインストールする構成を指します。

スタンドアローン構成と分散構成はセットアップ手順が異なりますので、どちらの構成にするか検討した上でセットアップをお願いします。

スタンドアローン構成

セットアップ手順を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、すべてのサーバに以下の作業を実施してください。

IOWebDOC のインストール

IOWebDOC とは

IOWebDOC は、PDFファイル作成ランタイム（実行モジュール）です。

IM-PDFDesigner は、IOWebDOC と連携してPDFファイルを作成します。



注意

古いバージョンの IOWebDOC がインストールされている場合は、古いバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

フォルダ構成

IOWebDOC のインストーラが同梱されているフォルダ構成を説明します。

フォルダ名	ファイル名	内容
win64	webdoc_runtime-x.x.x-win64.zip	Windows Server（64 bit）版 IOWebDOC セットアップファイル

フォルダ名	ファイル名	内容
lnx64	webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar	Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 版 IOWebDOC セットアップファイル
tool	webdoc_tool-x.x.x-win32.zip / webdoc_tool-x.x.x-win64.zip	IOWebDOC レイアウトデザインツール
JavaIF	iowebdoc.jar	IOWebDOC Java I/F

【重要】 IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) について

IOWebDOC は、

- IOWebDOC (1.9.x)
- IOWebDOC (3.x.x)

の2種類から選択できます。

IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) の違い

- 扱えるデータの文字コードが異なります。 IOWebDOC (1.9.x) は Shift_JIS です。 IOWebDOC (3.x.x) は UTF-8 です。
設定方法は後述しておりますので、手順に従って設定してください。
- 帳票エンジン（ IOWebDOC ）の製品バージョン / 帳票エンジン（ IOWebDOC ）のインストーラそのものが異なります。
- 帳票レイアウトファイル（dlf/iod/def/clf/ddl等...）の形式が異なります。後述しておりますので、保存する際に IOWebDOC (3.x.x) に対応した形式で保存してください。

IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) の判別方法

Windows環境の場合

帳票エンジン（ IOWebDOC ）がインストールされたマシンにログインし、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
C:\> iowebver
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x ← 実際はダイアログに表示されます。
```

バージョン番号が、1.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (1.9.x) 、
バージョン番号が、3.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (3.x.x) です。

Linux環境の場合

帳票エンジン（ IOWebDOC ）がインストールされたマシンにログインし、ターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
# $IODOC/bin/iowebver
# IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x
```

バージョン番号が、1.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (1.9.x) 、
バージョン番号が、3.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (3.x.x) です。

【重要】 IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) どちらをインストールすべきかの判断基準

IOWebDOC (1.9.x) をインストールする場合	既存システムのリプレースまたはバージョンアップで、以前より IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用しているシステムの場合
	日本国内のみでの利用であり、文字コードとして Shift_JIS の範囲内の利用で問題がないシステムの場合
IOWebDOC (3.x.x) をインストールする場合	IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用したシステムを新規に構築する場合
	UNICODE文字の出力が必須のシステムの場合

IM-PDFDesigner for Accel Platform で利用できるエンコーディングは、次の通りです。

- IOWebDOC (1.9.x) の場合は、Shift_JIS です。
- IOWebDOC (3.x.x) の場合は、UTF-8 (BOMあり) です。



コラム

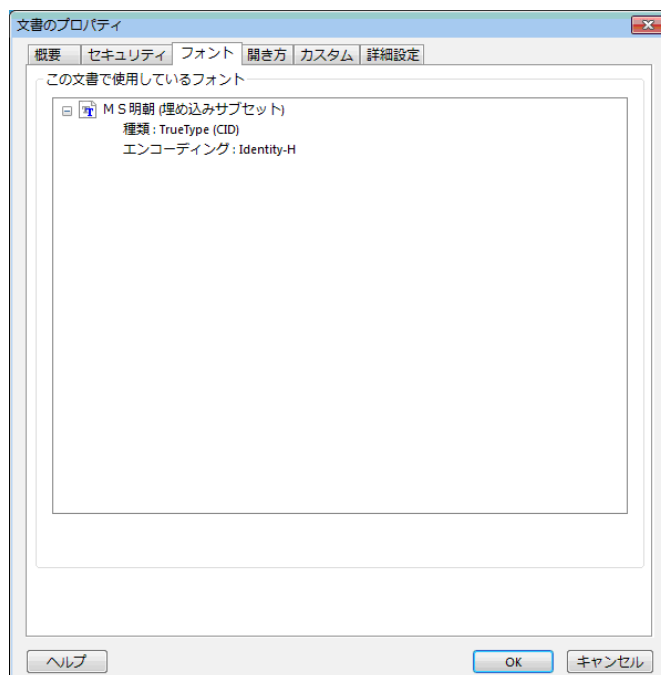
エンコーディングが UTF-8 (BOMあり) の場合は、実装水準1に対応しています。結合文字は含まれません。

その他注意事項

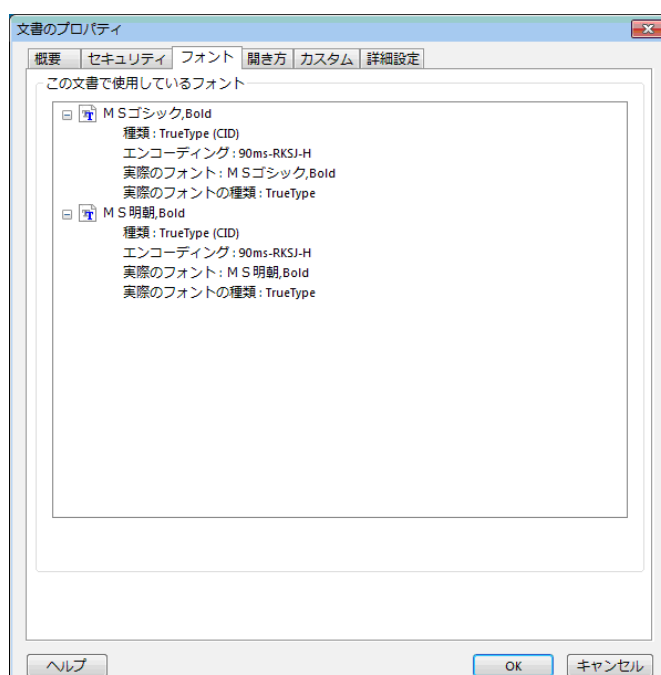
正しく多言語のPDFファイルが出力されているか確認する方法

正しく多言語のPDFファイルが出力出来ているかどうかに関しては、以下の2点を確認してください。

1. PDFファイルにフォントが埋め込まれているかどうかを確認する。
生成されたPDFファイルをAdobeReaderで開いてください。ファイル→プロパティ→フォントタブを選択



正しく設定されている場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）と表示されています。



正しく設定されていない場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）の文字がありません。

2. 日本語以外の固有文字が正しく出力されているかを確認する。

各言語固有の文字は、IM-PDFDesigner V7互換バージョンでは、フォントを埋め込んでも表示されません。正常に設定出来ているかの確認に使用してください。

IOWebDOC のインストール

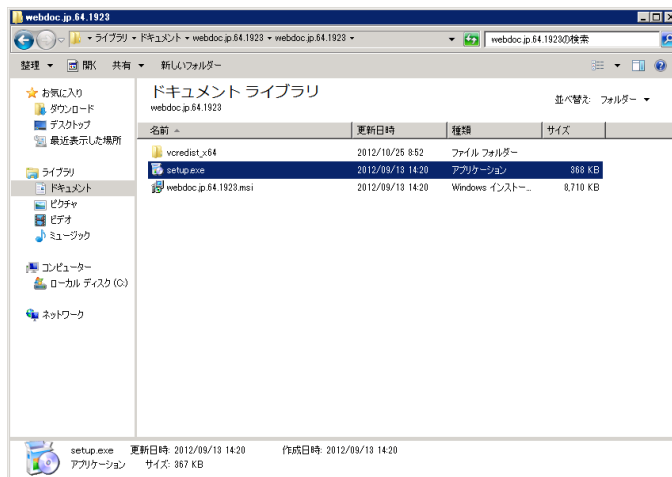
各オペレーティングシステム別にインストールを行います。

IOWebDOC のインストール - Windows Server (64 bit) 編

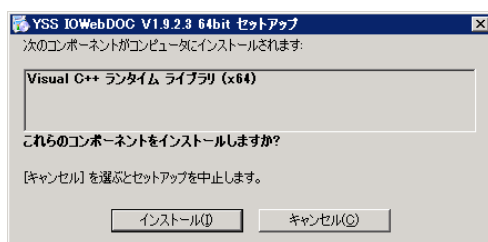
IOWebDOC を Windows Server にインストールする方法を説明します。

インストール手順

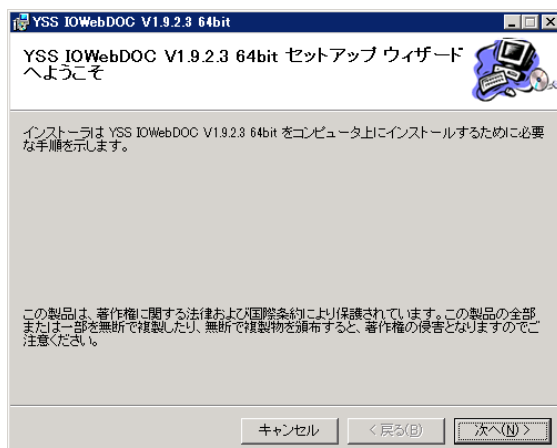
1. win64 フォルダの webdoc_runtime-x.x.x-win64.zip を 任意のフォルダに解凍します。
2. 解凍後のフォルダ内にある setup.exe を実行します。UACが有効な環境では、「右クリック→管理者として実行」でインストールしてください。



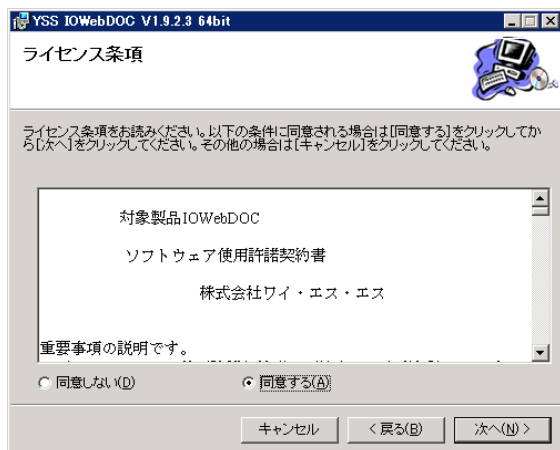
3. Visual C++ ランタイム ライブラリ (x64) を追加インストールする必要がある場合、下記画面が表示されます。表示されない場合は、次の手順 4. に進んでください。「インストール(I)」をクリックします。



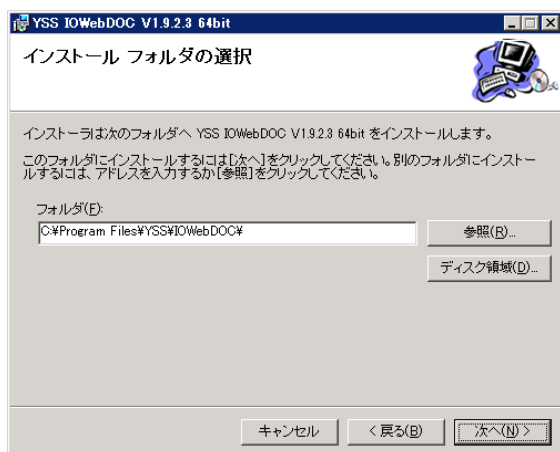
4. IOWebDOC をインストールします。「次へ(N)」をクリックします。



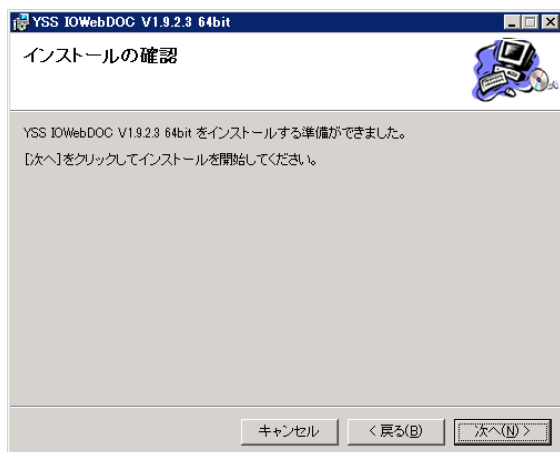
5. ライセンス条項の内容を確認し、同意する場合は「同意する(A)」を選択して「次へ(N)」をクリックします。



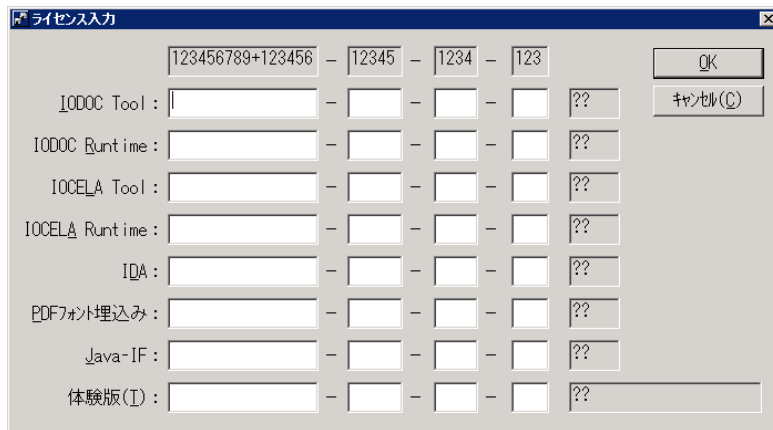
6. インストール フォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



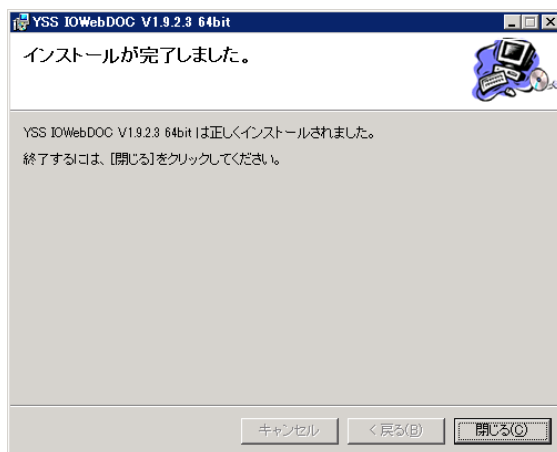
7. 「次へ(N)」をクリックします。



8. ライセンスを入力します。
「OK」をクリックします。



9. 「閉じる(C)」をクリックします。



以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

IOWebDOC のインストール - Red Hat Enterprise Linux （64 bit）編

IOWebDOC を Red Hat Enterprise Linux にインストールする方法を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/
```

インストール手順

1. IOWebDOC セットアップファイルをコピーします。
lnx64 フォルダの webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar を /usr/local/ にコピーします。

```
$ cp [ディレクトリ]/lnx64/webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar /usr/local/.
```

2. 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/
$ tar xvf webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar
```



コラム

Resin を実行するユーザにて解凍します。
解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

3. 解凍されたディレクトリの名称を *webdoc* に変更します。

```
$ mv webdoc_runtime-x.x.x-linux64 webdoc
```

4. ライセンスファイルを入力します。

webdoc/etc/license.txt にライセンスを入力します。

```
$ vi webdoc/etc/license.txt
```

webdoc/etc/license.txt

```
1  #
2  # IODOC/IOWebDOC License file
3  #
4
5  #Sample
6  #6d8b01ud00030d4b-ABCDE-1234-abc  ←先頭に"#"を追加するとコメント行となります。
7  #                                次行からライセンスを入力して下さい。
```

5. 本体のライセンスとは別に、フォント埋め込み用のライセンスを入力します。

以下のライセンスを入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

```
317e17lsAC000507-pc779-0808-019
```

以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

ライセンスの再登録

体験版ライセンスの有効期限切れなどの場合には、ライセンスの再登録が必要です。

以下、ライセンスの再登録の手順を説明します。

Windows Server (64 bit) 編

「スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→ライセンス→ライセンスの入力」 ボタンをクリック

何もライセンスが入っていない場合、上記の画面が表示されます。

	123456789+123456	12345	1234	123	
IODOC Tool :					??
IODOC Runtime :					??
IOCELA Tool :					??
IOCELA Runtime :					??
IDA :					??
PDFフォント埋込み :					??
Java-IF :					??
体験版(T) :					OK

体験版ライセンス番号は期限ごとに異なります。一番右の欄の横に「OK」と出れば使用可能です。

	123456789+123456	12345	1234	123	
IODOC Tool :					??
IODOC Runtime :					??
IOCELA Tool :					??
IOCELA Runtime :					??
IDA :					??
PDFフォント埋込み :					??
Java-IF :					??
体験版(T) :					??

正規のライセンスは上記の赤い欄に入力します。（欄が赤くなる訳ではありません）。



コラム

FullPack版では、「IDA」の欄(上記緑色の欄)への入力も必要です。

「PDFフォント埋め込み」の欄（上記黄色の欄）への入力も必要です。こちらに関しては 以下のライセンスを黄色の欄に入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

d89717wrAC000507-pc777-0808-019

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編

1. viエディタ等で /usr/local/webdoc/etc/license.txt を修正します。

```
$ vi /usr/local/webdoc/etc/license.txt
```

2. 古いライセンスをコメントアウトします。

```
#
# IODOC/IOWebDOC License file
#

#ライセンス入力（合計 3行分のライセンス（IODoc/IOCela/JavaIF）の入力が必要です）
#IODoc_license-ABCDE-1234-abc ←先頭に"#"を入れるとコメント行となる
#IOCela_license-ABCDE-1234-abc
#JavaIF_license-ABCDE-1234-abc
```

3. 次行からライセンスを入力します。



コラム

1行に1ライセンス分を入力します。合計で 3行分のライセンス（IODoc/IOCela/JavaIF）の入力が必要です。



コラム

FullPack版では、上記の他にIDA分のライセンスが必要です。（合計で 4行分）

4. 本体のライセンスとは別に、フォント埋め込み用のラインセンスを入力します。以下のライセンスを入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

317e17IsAC000507-pc779-0808-019

以上でライセンスの再登録は完了です。



コラム

IOWebDOC が既にインストール済みで、正常に稼働している場合は本作業は不要です。

環境設定

IM-PDFDesigner の環境設定を説明します。

Windows Server (64 bit) 編

環境変数

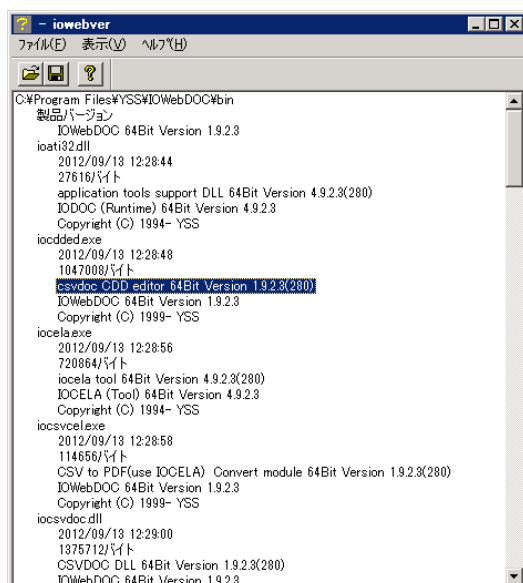
1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
以下の表に従い、環境変数を設定してください。

変数名	設定内容
PATH	%IODOC%/bin を追加

2. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを入力します。

```
> iowebver
```

3. 以下の画面が表示されたら環境設定は完了です。
画面が表示されない場合は、設定内容に間違いがないか確認をし、再度 コマンドを実行してください。



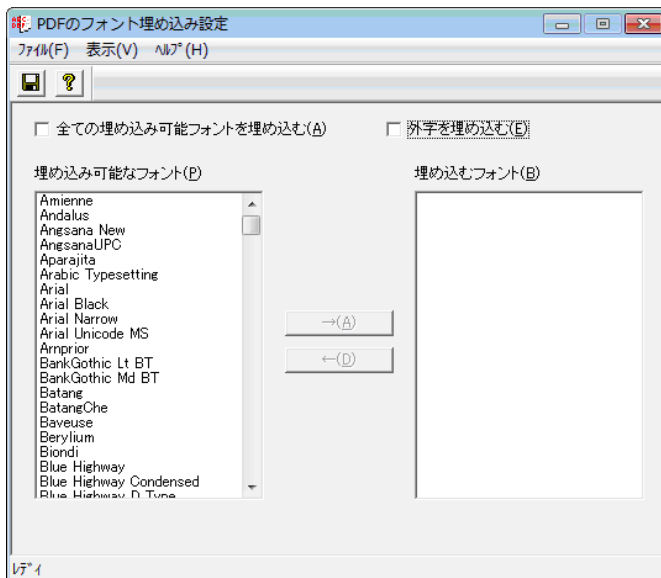
**コラム**

環境変数は、Resin を実行するユーザの環境変数に追加設定してください。
 環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。
 [システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をしてください。

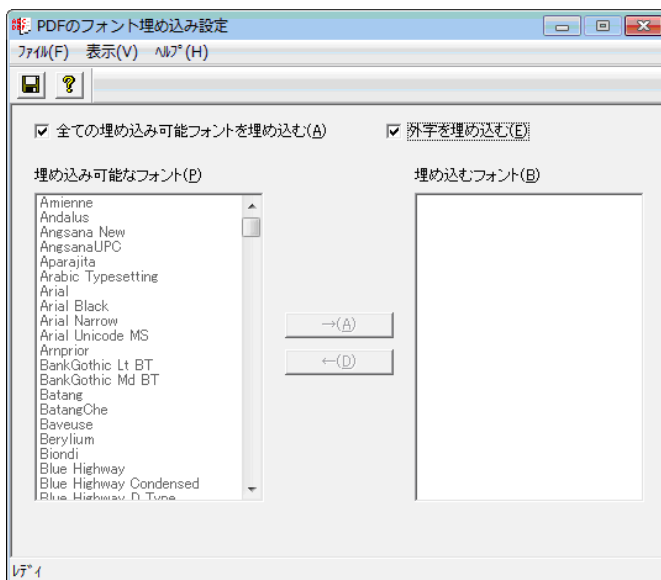
フォント埋め込み・外字オプションの設定

多言語をPDFファイルに埋め込むためには、PDFファイルにフォントを埋め込む設定が必要です。
 以下に設定方法をご説明させていただきます。

「スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→PDFフォント埋め込み」



上記の画面が起動します。



上記のように「全ての埋め込み可能フォントを埋め込む」「外字を埋め込む」にチェックをしてください。
 その上で、「ファイル→上書き保存」の指定 または 「保存ボタン」をクリックを行ってください。

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編**環境変数**

1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
 以下の表に従い、環境変数を設定してください。

変数名	設定内容
-----	------

IODOC	%IODOC% (末尾の"/"スラッシュなし)
-------	-------------------------

```
$ IODOC=/usr/local/webdoc
$ export IODOC
```

2. 各環境変数を設定します。
%IODOC%/iodoc.sh に実行権限を追加して実行します。

```
$ chmod +x /usr/local/webdoc/iodoc.sh
$ ./usr/local/webdoc/iodoc.sh
```



コラム

iodoc.sh を実行すると下記の環境変数が追加されます。

PATH	\$IODOC/bin 追加
LD_LIBRARY_PATH	\$IODOC/lib 追加

3. 環境設定が正しく設定できていることを確認します。
バージョンが下記のように表示されることを確認してください。

```
$ iowebver
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x(linux/sjis)
```

ファイルの権限設定

Resin を実行するユーザ以外で解凍してしまった場合、または権限ユーザを変更する場合の手順を説明します。



コラム

Windows環境にインストールしている場合、この設定は必要ありません。

実行権限の設定

binディレクトリ内のすべてのファイルに実行(execute)権限を設定してください。

- IOWebDOC をインストールしたディレクトリに移動します。
- binディレクトリ に移動します。
- すべてのファイルに実行権限を付与します。

```
$ cd /usr/local/webdoc/
$ cd bin/
$ chmod +x *
```

参照権限の設定

以下に示すファイルに参照(Read)権限を設定してください。

- libディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定してください。
- etcディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定してください。

```
$ cd /usr/local/webdoc/

$ cd lib/

$ chmod +r *

$ cd etc/

$ chmod +r *
```

なお、サブディレクトリがある場合は、サブディレクトリおよびサブディレクトリ内の ファイルにも同様の権限を設定してください。

フォント埋め込み・外字オプションの設定

以下は、IOWebDOC (3.x.x) 利用時は、フォントの埋め込みが必須です。

文字コードについて

- 文字コードはUTF-8を前提としているため、
- コマンド引数の文字列、コマンド引数で指定するファイルの
- 文字コードはUTF-8にしてください。
- また、出力されるログファイルは全てUTF-8です。

制限事項

- フォントは etc/fonts/pfont.txt に登録したフォントのみ使用できます。
- 登録外のフォントは etc/prop/jp.sjis/locale.prop の設定に従い置換します。
- etc/prop/jp.sjis/locale.prop の wfontzhz に設定されたフォント（デフォルトではIPA明朝）が etc/fonts/pfont.txt に登録されていない場合はエラーです。

Java I/F の配置

Windows Server (64 bit) 編

JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib にコピーします。

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編

JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib にコピーします。

```
$ cp [ディレクトリ]/JavaIF/iowebdoc.jar %RESIN_HOME%/lib/
```

レイアウトデザインツールのインストール

レイアウトデザインツールとは

レイアウトデザインツールとは、PDFファイルを出力する元となる雛形（フォーマット定義）を作成するためのツールです。

IM-PDFDesigner を利用する際には、フォーマット定義ファイルを作成するためにランタイムとは別にレイアウトデザインツールを Windows (32bit) 環境にインストールする必要があります。

(IM-PDFDesigner には、ランタイム 1 ライセンスと、レイアウトデザインツール 1 ライセンスが付属します)

大規模案件などでレイアウトデザインツールを多く必要とされる場合は、レイアウトデザインツールのみご購入ください。

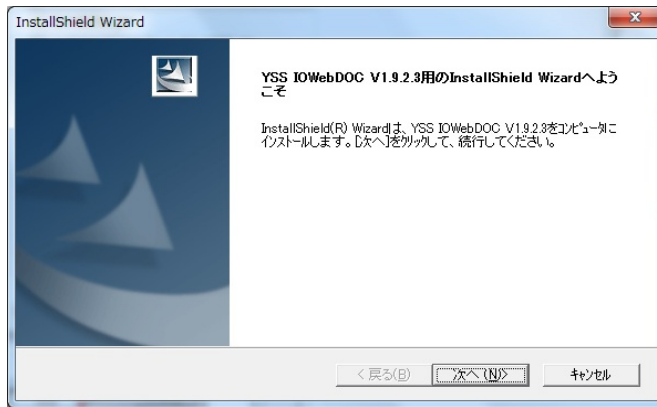
Linux (64bit) 版、またはWindows (64bit) 版で正規ライセンスをご購入された場合のレイアウトデザインツールのインストール手順です。

なお、レイアウトデザインツールはレイアウト開発ツールですので、レイアウト定義ファイルの作成がすでに完了していてレイアウト定義の修正や新規開発を行わない場合は、レイアウトデザインツールをインストールする必要はありません。

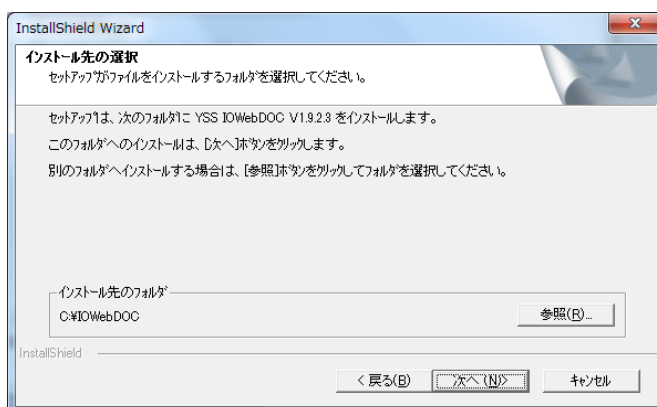
インストール

1. tool フォルダの webdoc_tool-x.x.x-win32.zip / webdoc_tool-x.x.x-win64.zip を実行します。

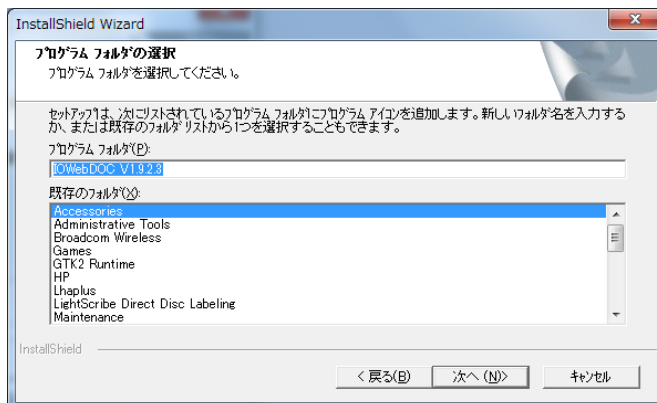
2. 「次へ(N)」をクリックします。



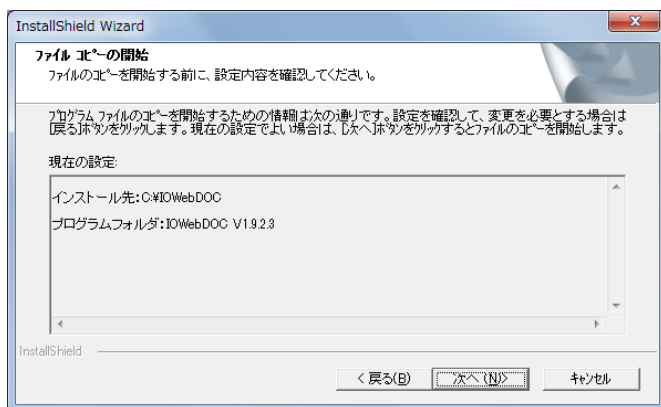
3. インストールフォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



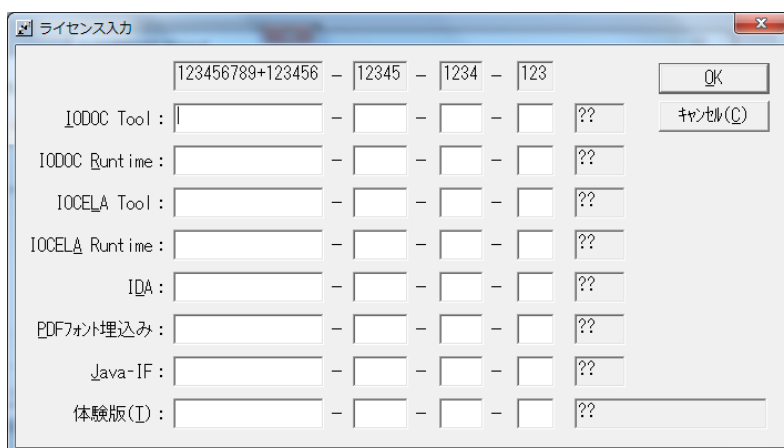
4. 「次へ(N)」をクリックします。



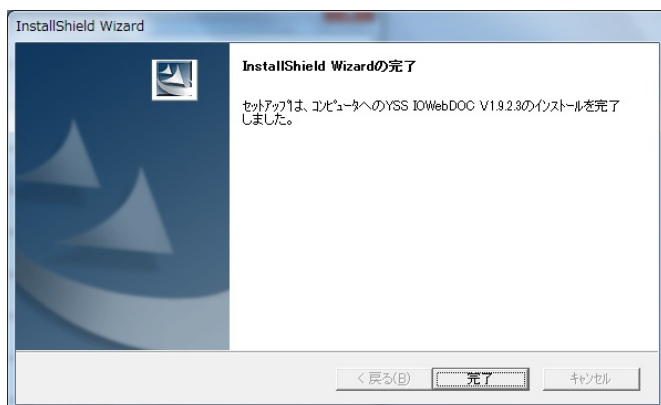
5. 「次へ(N)」をクリックします。



6. ライセンスを入力し、「OK」をクリックします。



7. 「完了」をクリックします。



以上で、レイアウトデザインツールのインストールは完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成

プロジェクトの作成

項目

- [IM-Juggling とは](#)
- [IM-Juggling のインストール](#)
- [プロジェクトの新規作成](#)

IM-Juggling とは

IM-Juggling はモジュールの管理、warファイルを出力できる環境構築ツールです。

このツールを使用し、インストールやパッチの適用をします。



注意

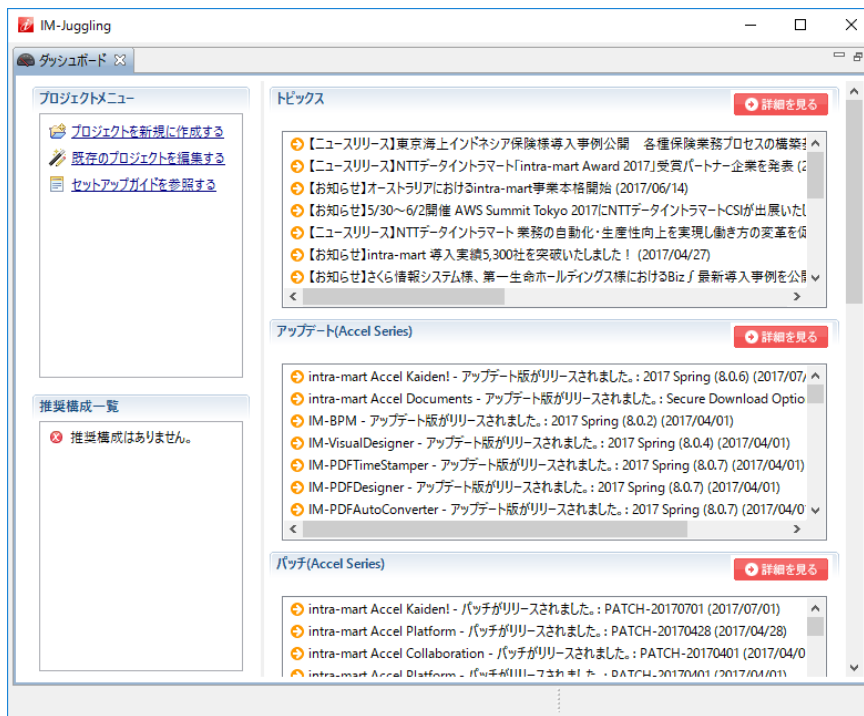
IM-Juggling を利用するには、インターネットに接続している必要があります。

IM-Juggling のインストール

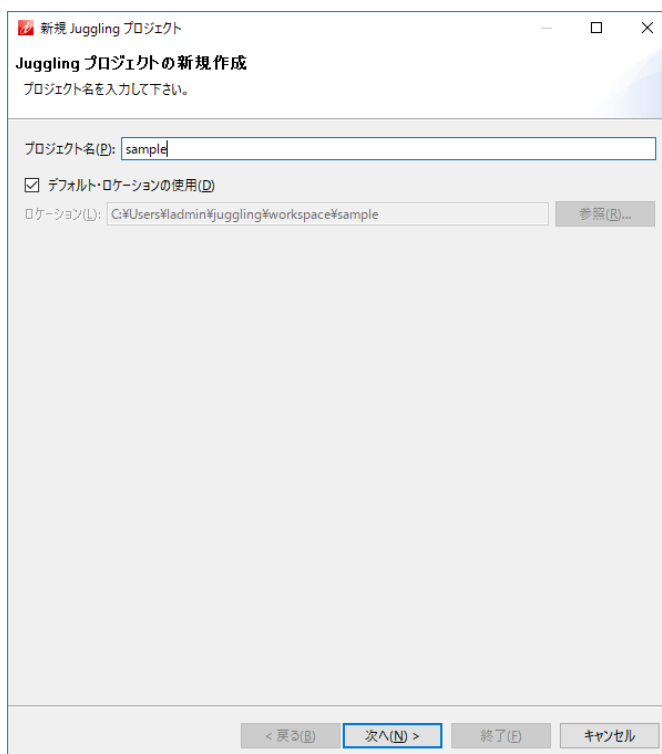
iAP に同梱されているディレクトリより、環境に合わせた IM-Juggling を任意のパスに展開します。

プロジェクトの新規作成

1. 展開したディレクトリ直下にある、**juggling.exe** を起動します。
2. ダッシュボードが表示されます。
「プロジェクトを新規に作成する」を選択します。

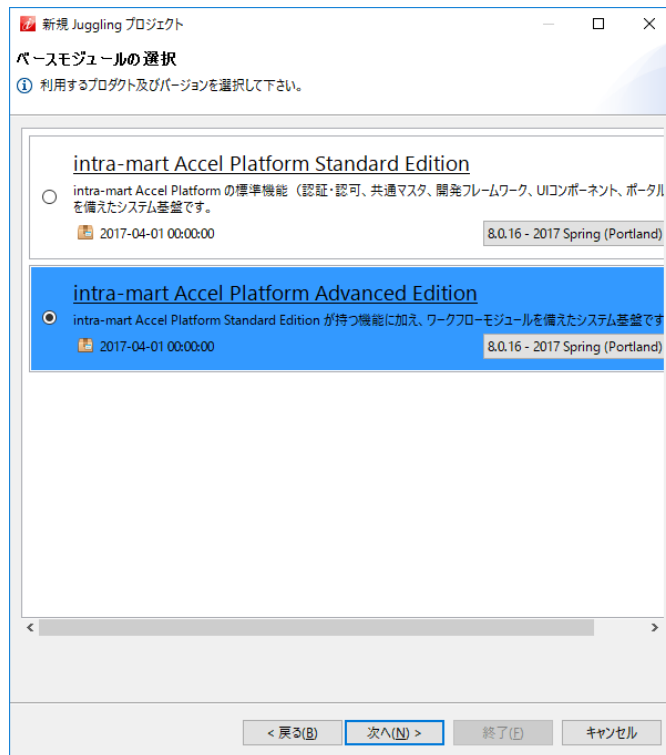


3. ポップアップ表示されたウィザード画面内の「プロジェクト名」に半角英数字の任意のプロジェクト名を入力します。
入力後、「次へ (N)」をクリックします。

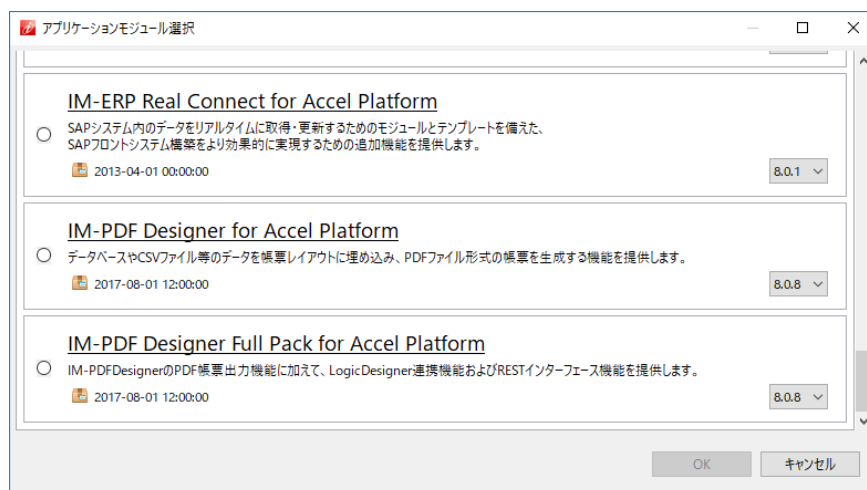


4. 利用するプロダクト及びバージョンを選択します。

選択後、「次へ (N)」をクリックします。



5. 使用するアプリケーションを選択します。([PDF-Designer] - [x.x.x] を選択します。x.x.xはバージョン番号です。) 選択後、「次へ (N)」をクリックします。



注意

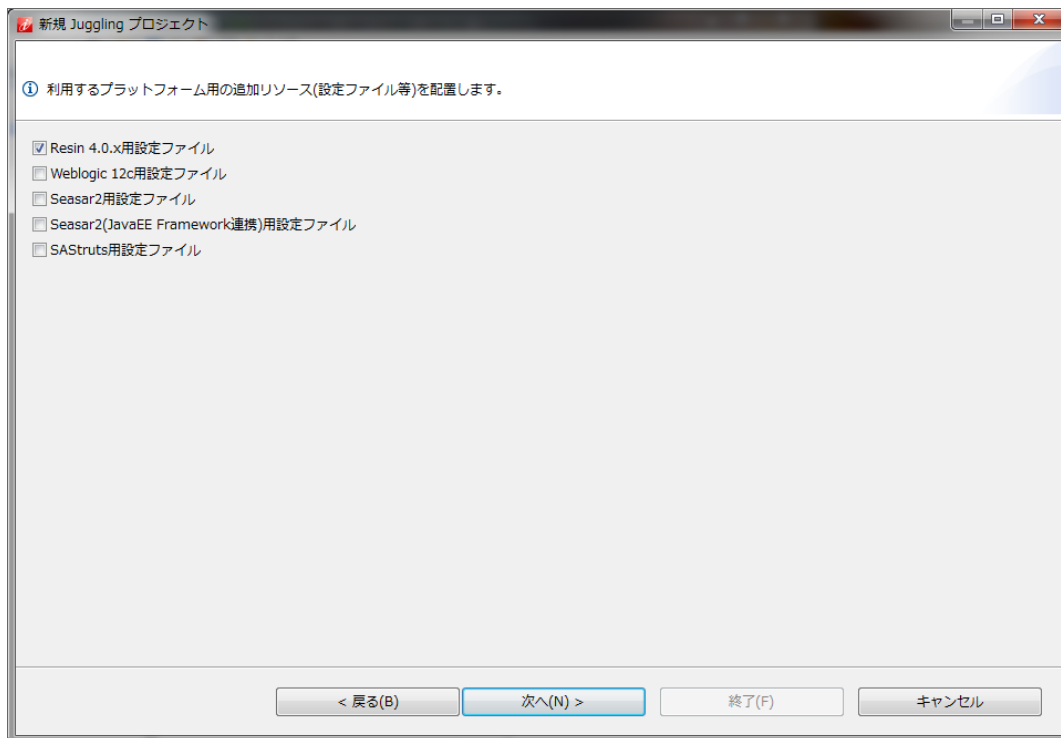
下記アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform

注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform と IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は同時に二つとも選択しないでください。

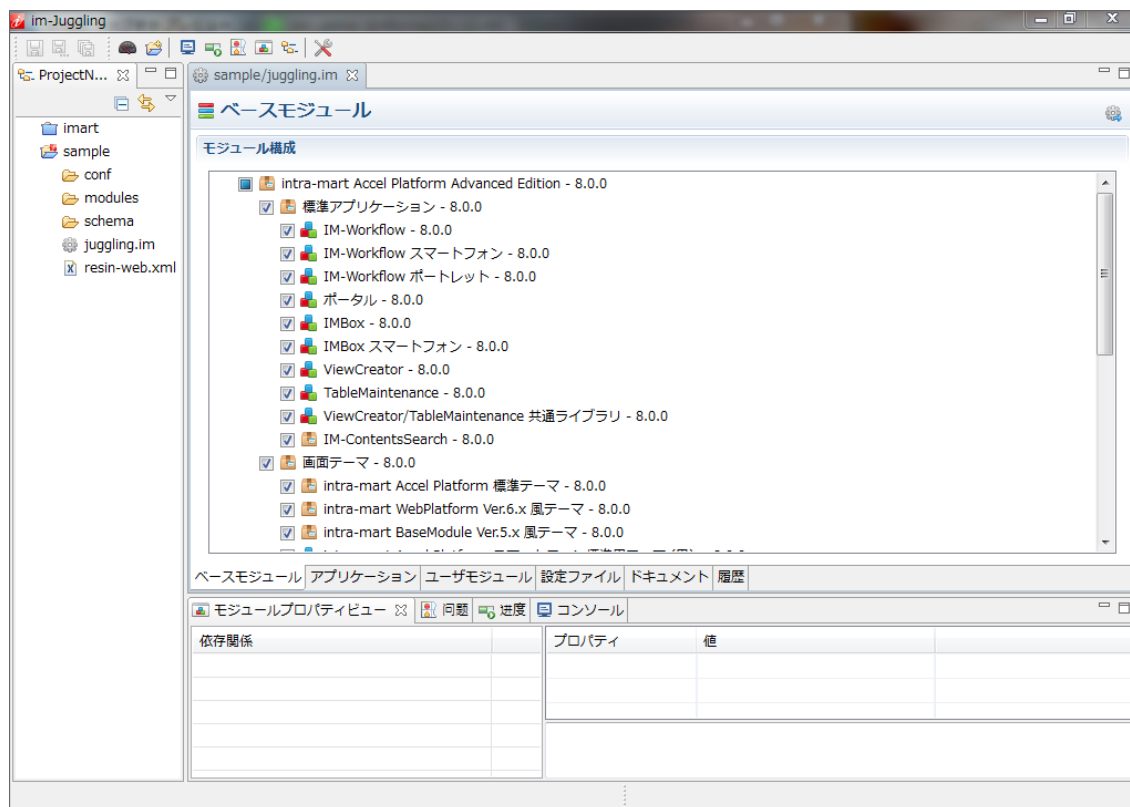
6. 使用するオペレーティングシステム用の追加リソース(設定ファイル等)を選択します。 選択後、「次へ (N)」をクリックします。



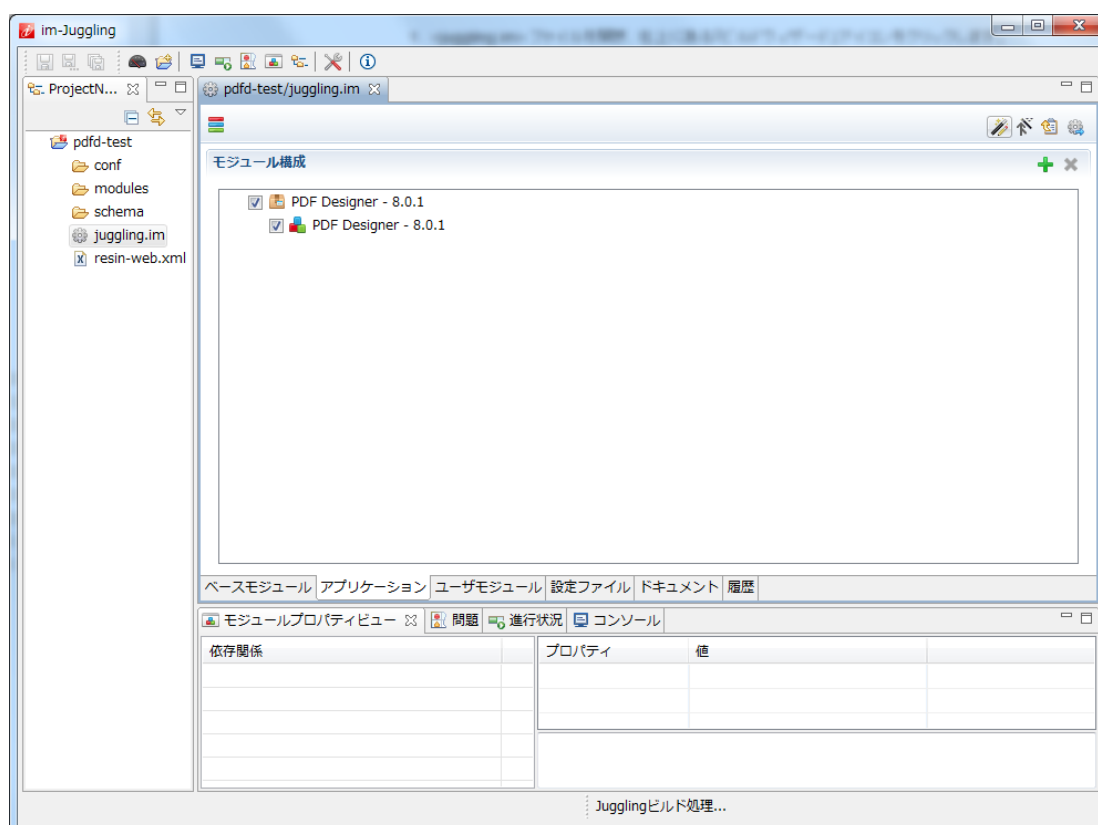
7. 最後に「終了 (F)」をクリックします。



8. プロジェクトの作成処理が行われ、完了すると以下の画面が表示されます。



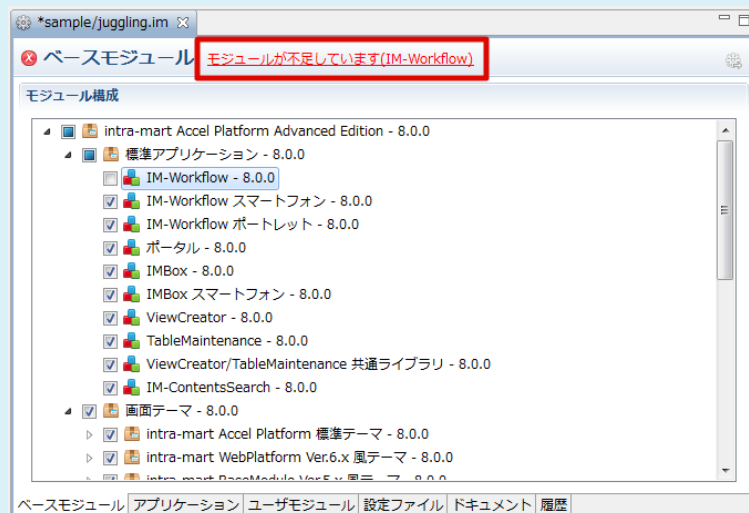
9. 「アプリケーション」タブをクリックし、PDF-Designer - 8.x.x が表示されることを確認して、次の手順に移ります（x.xの部分はバージョン番号です）。



コラム

画面上部にエラーメッセージが表示される場合

モジュール単位・アプリケーション単位で依存関係を持っています。

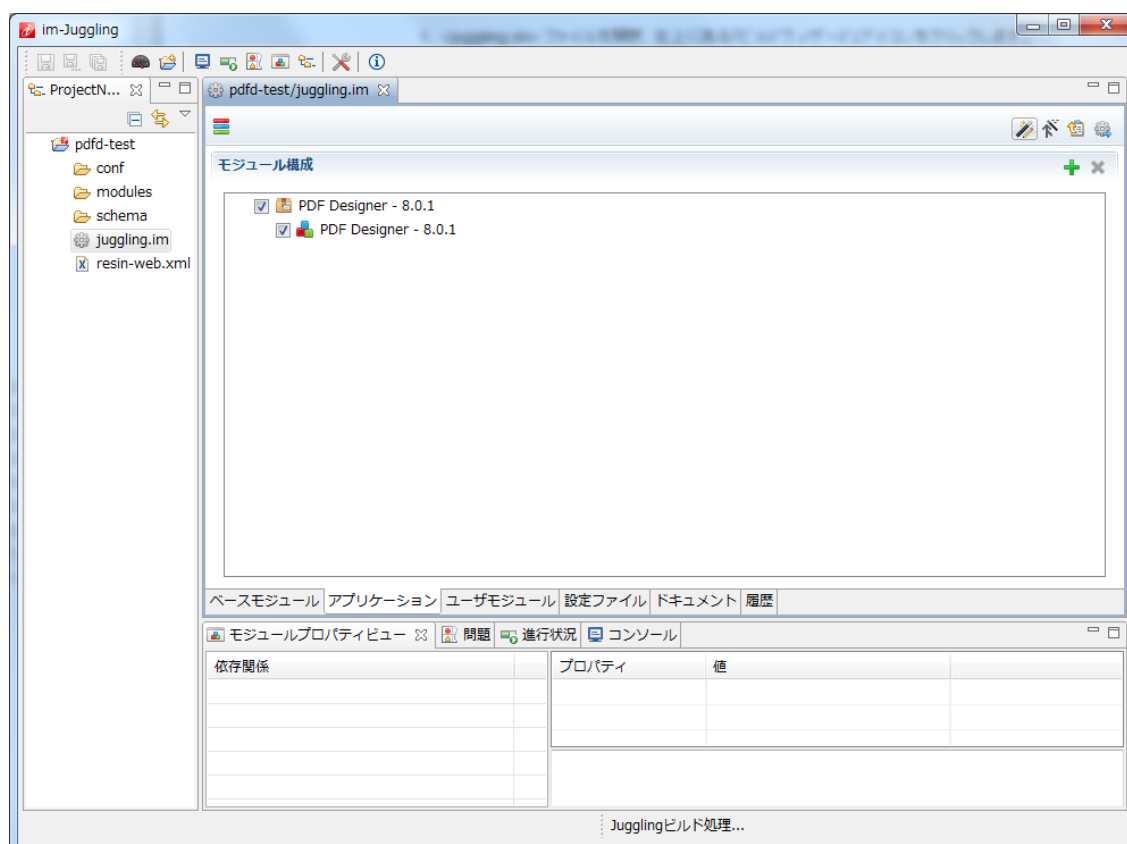


以下の手順で必要な設定を追加することができます。

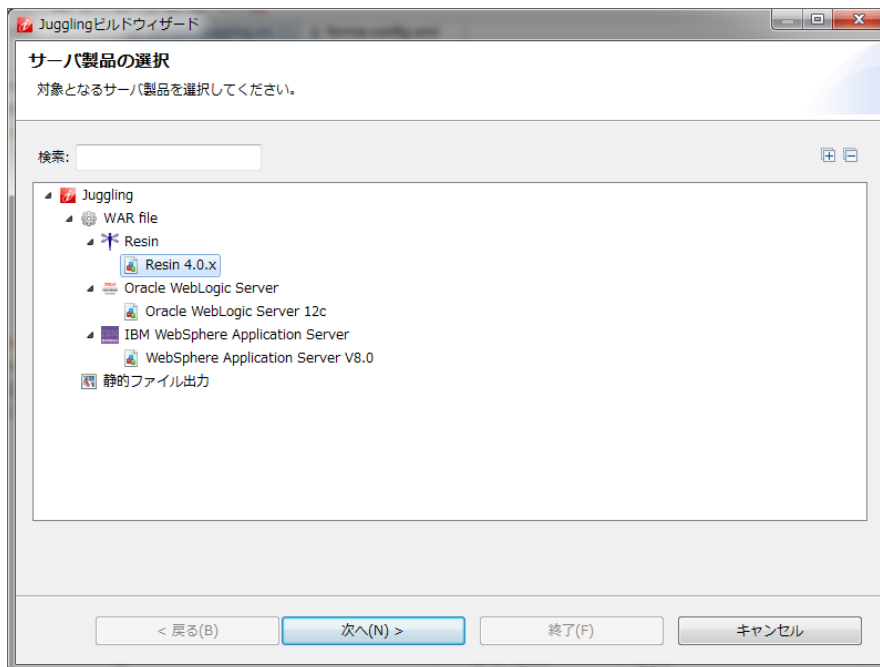
1. メッセージをクリックします。
2. 「依存関係の解決」画面で「OK」をクリックします。

warファイルの出力

1. <juggling.im> ファイルを開き、右上にある「ビルドウィザード」アイコンをクリックします。



2. 「サーバ製品の選択」画面で対象となるサーバを選択し、「次へ」をクリックします。



3. 「基本設定」画面で設定を行い、「次へ」をクリックします。



利用種別

- 製品版
ライセンスを購入されたお客様はこちらを選択してください。
- 評価版
評価版です。
正規に使用する場合はライセンスを購入してください。

実行環境

- 単体テスト環境
単体テスト環境を表します。
JUnitなどを利用する場合を想定しています。
パフォーマンスに関しては考慮しません。
- 結合テスト環境
結合テスト環境を表します。
IDEを使用したテスト環境などを想定しています。
一般的に最も利用される環境を想定しています。
必要最低限の動作環境です。
- 統合テスト環境

統合テスト環境を表します。

本来の実行環境 (APサーバ) を使用した統合テスト環境を想定しています。

カットオーバー直後等でもこの環境を利用することを想定しています。

■ 運用環境

運用環境を表します。

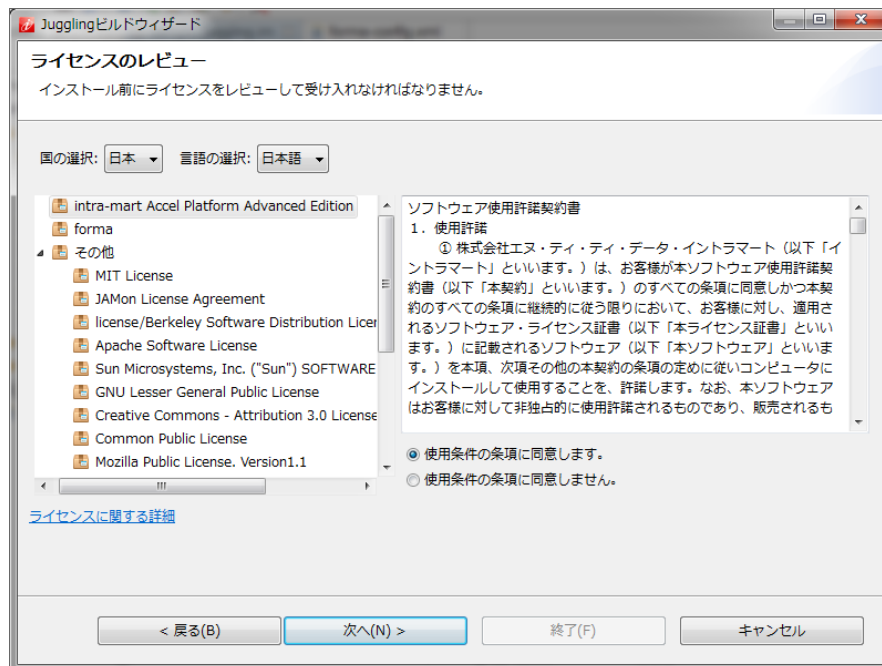
パフォーマンスを考慮した動作環境です。



注意

「warファイル出力先フォルダ」には、実行するユーザの権限があるフォルダを指定してください。

4. 「ライセンスのレビュー」画面で内容を確認し、同意頂ける場合は「使用条件の条項に同意します。」を選択し、「終了」をクリックします。



5. 「設定項目の確認」画面で内容を確認し、「終了」をクリックします。
Jugglingビルドウィザード画面が立ち上がり、ダウンロードが開始されます。
ダウンロードに時間がかかりますので、完了するまで操作を行わないでください。



6. warファイルが指定の場所に出力されると、ビルドウィザード画面が閉じます。
指定したディレクトリにwarファイルが出力されます。
7. IM-Juggling を終了してください。

項目

- システム管理者によるテナント環境の構築
 - テナント環境セットアップ
 - ライセンスの登録
 - ポートレットの初期化
 - サンプルデータセットアップ
 - 一般ユーザ管理
- 一般ユーザによる操作
 - 一般ユーザログイン

システム管理者によるテナント環境の構築

テナント環境セットアップ

1. Webブラウザより システム管理者ログイン画面「<http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/system/login>」へアクセスします。



コラム

初回アクセス時は、システム管理者が未登録のため「テナント初期設定」画面へ自動的に遷移します。

- 「テナント初期設定」画面で英語が表示される場合があります。
日本語で表示したい場合は、ブラウザの言語設定を「日本語(ja)」に変更してください。

2. システム管理者情報、テナント情報、テナント管理者情報を入力し「登録」ボタンをクリックします。
テナント環境の構築処理が行われます。



コラム

テナント管理者はテナント環境セットアップ後、システム管理者のメニュー「一般ユーザ管理」から登録することもできます。

3. 処理が正常に完了すると、次の結果画面が表示されます。
正常終了していることを確認し、左上の「ホーム」をクリックします。

セットアップ結果

ホーム システム管理者の登録、テナント環境セットアップ、テナント管理者の登録が完了しました。 ログアウト

処理結果	モジュールID	インポート種別	インポート対象名	エラーメッセージ
✓	im_admin	DDL	products/import/basic/im_admin/im_admin-ddl.sql	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_en.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_ja.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_zh_CN.xml	-
✓	im_authz	DDL	products/import/basic/im_authz/im_authz-ddl.sql	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_en.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_ja.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_zh_CN.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-authz-resource-group.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-authz-resource.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-authz-subject-group.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-authz-policy.xml	-
✓	im_calendar	DDL	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-ddl.sql	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_en.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_ja.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_zh_CN.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar-day-set.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar-month-set.xml	-

ライセンスの登録

IM-PDFDesigner を購入されている場合、ライセンスの登録を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「ライセンス管理」をクリックします。
2. 「ライセンスキー登録」からライセンスの登録を行ってください。

ポートレットの初期化

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「ポートレット管理」をクリックします。

システム管理者ホーム ログアウト

システム管理メニュー

システム環境構築

ライセンス管理

テナント環境セットアップ

システム管理

一般ユーザ管理

サービス情報

アプリケーションロック一覧

ファイル操作

ポートレット管理

ポータル設定

Copyright © 2002-2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION All Rights Reserved.

Powered by intra-mart top ↑

左上の「標準ポートレット初期化」をクリックして実行してください。

ポートレットアプリケーション一覧

標準ポートレット初期化

コンテキスト	ポートレット名	登録日
imart	AsyncPagePortlet, GoogleGadgetPortlet, InternetPortlet, JavaseeFWPortlet, JspPortlet, LinkSetPortlet, MenuGroupPortlet, PresentationPagePortlet, RssPortlet, SystemNoticePortlet	2012/06/26

サンプルデータセットアップ

- サンプルデータをご利用される場合は、以下の手順を実行してください。

この作業で IM-PDFDesigner のサンプルとして、以下の項目が追加されます。

サンプルデータ (メニュー含む)

PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper)

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「テナント環境セットアップ」をクリックします。



2. 「サンプルデータセットアップ」をクリックします。



コラム

【参考】テナント環境・サンプルデータセットアップの途中で失敗した場合

接続先のデータベースのデータを削除し、再度テナント環境セットアップを行ってください。

一般ユーザ管理

- PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper) を一般ユーザに追加します。
この操作では、デフォルトユーザの「上田」にロールを追加する手順を説明します。



コラム

サンプルデータセットアップを必ず実行してからこの作業を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「一般ユーザ管理」をクリックします。



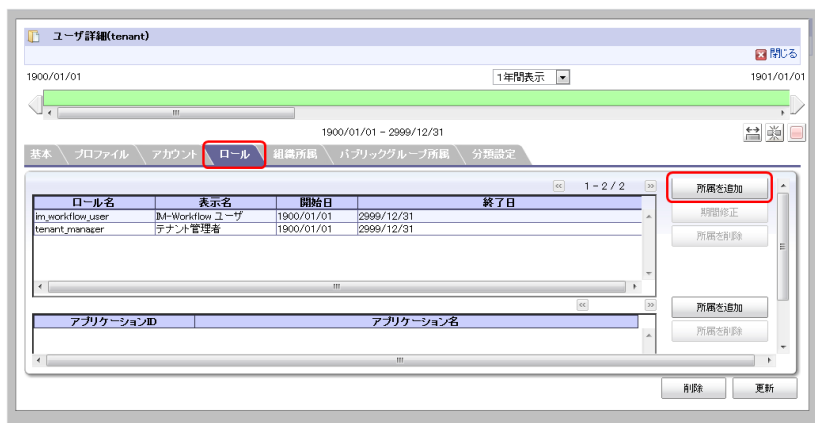
2. 何も入力せずに「検索」をクリックします。



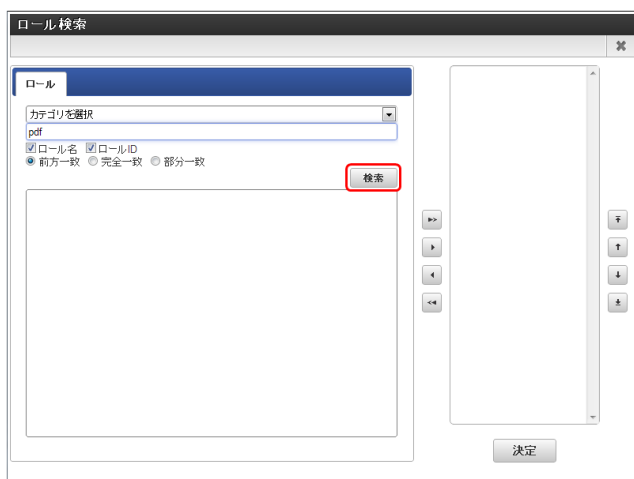
3. 検索結果が下部に表示されたら、[上田]の編集ボタンをクリックします。



4. ユーザ詳細画面から「ロール」タブボタンをクリックし、ロール一覧を表示します。
「所属を追加」ボタンをクリックします。



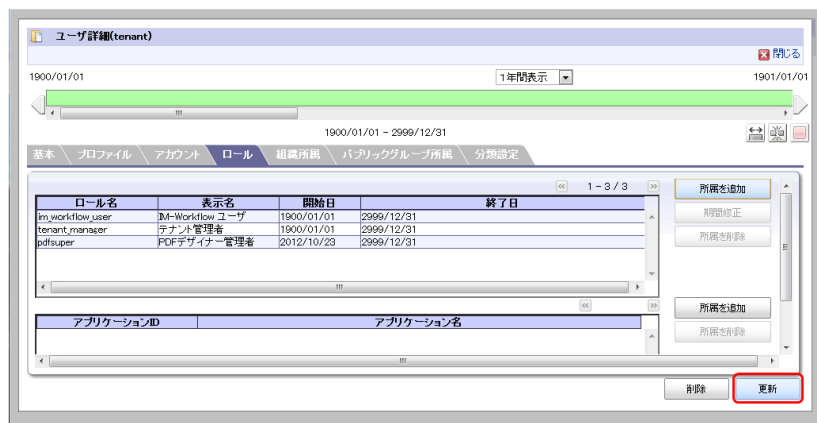
5. ロール検索画面 (新規画面) が表示されるので、「pdf」と入力後、「検索」ボタンをクリックします。



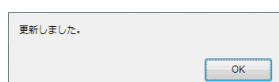
6. 「PDFデザイナー管理者」が下部画面に表示されます。
「PDFデザイナー管理者」を選択後、右ボタンをクリックして追加します。
「決定」ボタンをクリックします。



7. ユーザ詳細画面に戻ります。
「PDFデザイナー管理者」が追加されたことを確認して、「更新」ボタンをクリックします。



8. 「OK」ボタンをクリックします。



一般ユーザによる操作

一般ユーザログイン

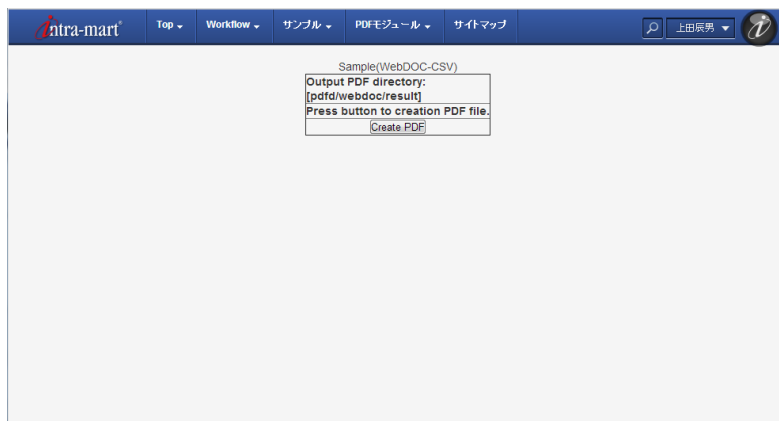
1. Webブラウザより 一般ユーザログイン画面「<http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/login>」へアクセスします。



2. 「ueda」にてログインすると、トップページのメニューに「PDFモジュール」が追加されます。



3. メニュー「PDFモジュール」より、サンプル・チュートリアルの実行が可能です。



元号のマスターデータ変更

項目

- 元号のマスターデータ変更について
- 対象レイアウト
- 変更手順

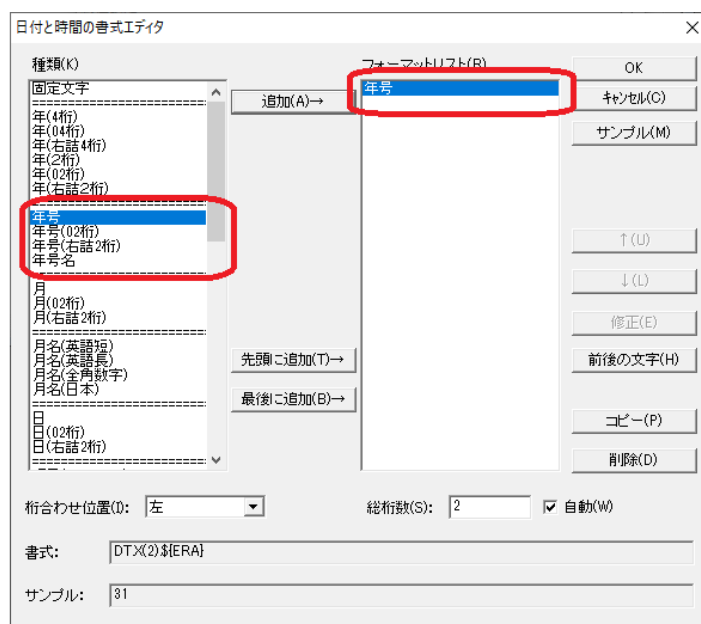
元号のマスターデータ変更について

IM-PDFDesignerの元号表示は独自のマスターデータを使用しますが、IODOCの”日付時間書式”機能を使用されていない場合、マスターデータの変更は必要ありません。

下記の対象レイアウトを使用されている場合のみ、元号のマスターデータ変更を行ってください。

対象レイアウト

和暦を表示している箇所では無く、元号表示としてIODOCの”日付時間書式”機能で”年号”を使用されているレイアウトファイルが対象となります。



変更手順

IOWebDOCのインストールフォルダ配下にある etc/prop/jp.sjis フォルダにある datetime.prop をテキストエディタで開いてください。

datetime.prop の最後に元号の管理情報が記載されています。

```
#####

# For Date and Time
#####

# Local
era={
#XX= YYYY   -2018  2    20190501    -          新元
#HE= YYYY   -1988  2    19890108    20190430   平成
HE=  YYYY   -1988  2    19890108    -          平成
SH=  YYYY   -1925  2    19261225    19890107   昭和
TA=  YYYY   -1911  2    19120730    19261224   大正
ME=  YYYY   -1867  2    18680908    19120729   明治
}

```

以下の 3 行を修正してください。

- 1) XX の先頭の # を取り、設定する元号(新元)に変更してください。
- 2) HE の先頭の # を取り、終了日付(20190430)に変更してください。
- 3) 現行の HE の先頭に # を付け、コメント行に変更してください。

[修正前]

```
# Local
era={
#XX= YYYY   -2018  2    20190501    -          新元
#HE= YYYY   -1988  2    19890108    20190430   平成
HE=  YYYY   -1988  2    19890108    -          平成
...
}

```

[修正後]

```
# Local
era={
XX=  YYYY   -2018  2    20190501    -          新元
HE=  YYYY   -1988  2    19890108    20190430   平成
#HE= YYYY   -1988  2    19890108    -          平成
...
}

```

※ “XX” は新元号用の識別IDです。他と被らない 2 文字を割り当ててください。



コラム

本構成の場合、intra-mart Accel Platform サーバでの作業のみ必要です。PDF帳票サーバの構築は不要です。

分散構成

セットアップ手順を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、各サーバに以下の作業を実施してください。

目次

- IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成
- テナント環境 の構築

IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成

以下の手順に沿って作業してください。

IM-PDFDesigner for Accel Platform 構成ファイルの作成

プロジェクトの作成

項目

- IM-Juggling とは
- IM-Juggling のインストール
- プロジェクトの新規作成

IM-Juggling とは

IM-Juggling はモジュールの管理、warファイルを出力できる環境構築ツールです。

このツールを使用し、インストールやパッチの適用をします。



注意

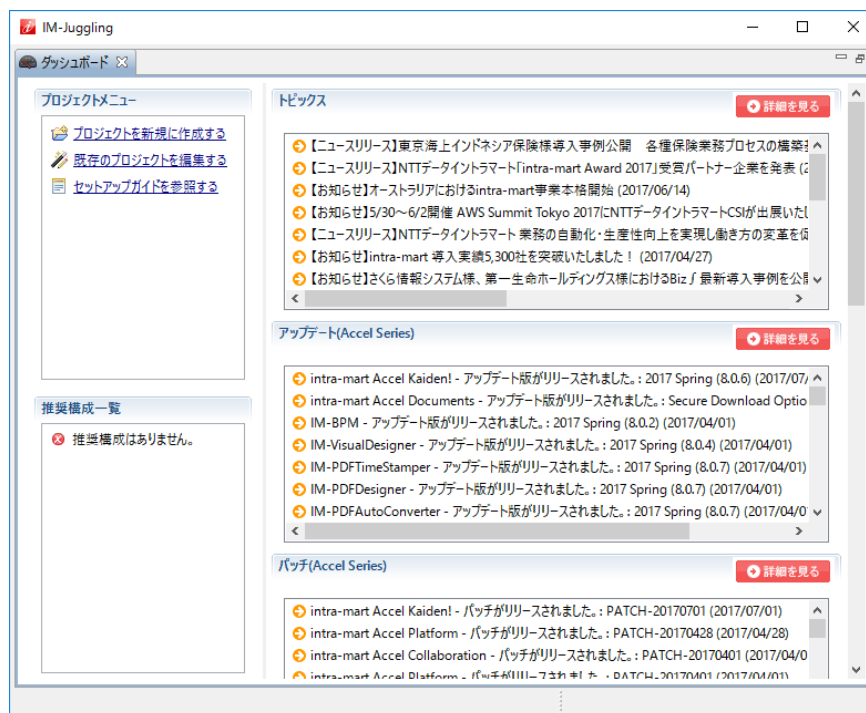
IM-Juggling を利用するには、インターネットに接続する必要があります。

IM-Juggling のインストール

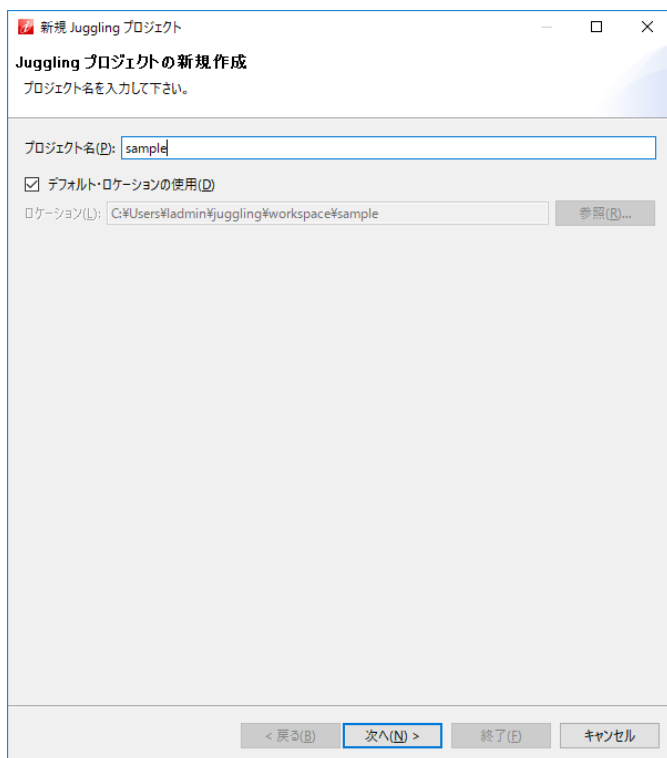
iAP に同梱されているディレクトリより、環境に合わせた IM-Juggling を任意のパスに展開します。

プロジェクトの新規作成

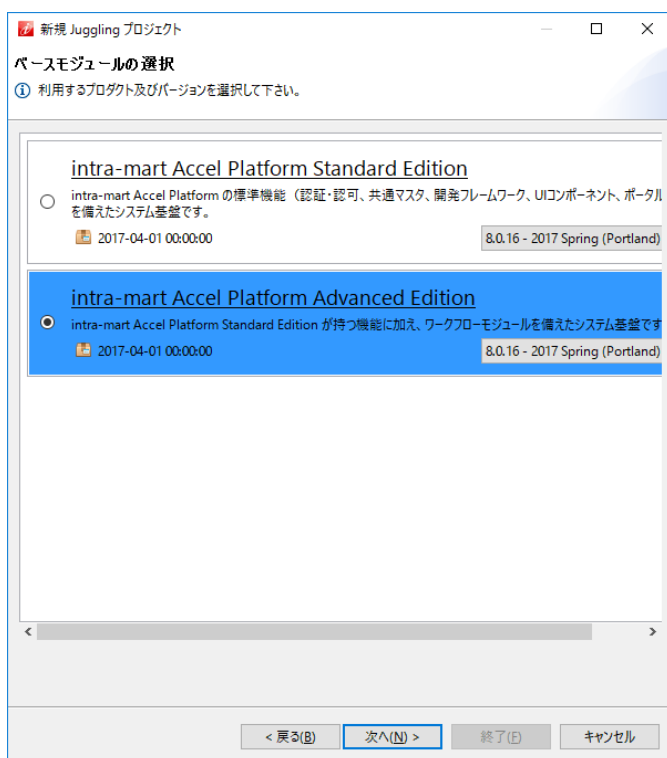
1. 展開したディレクトリ直下にある、**juggling.exe** を起動します。
2. ダッシュボードが表示されます。
「プロジェクトを新規に作成する」を選択します。



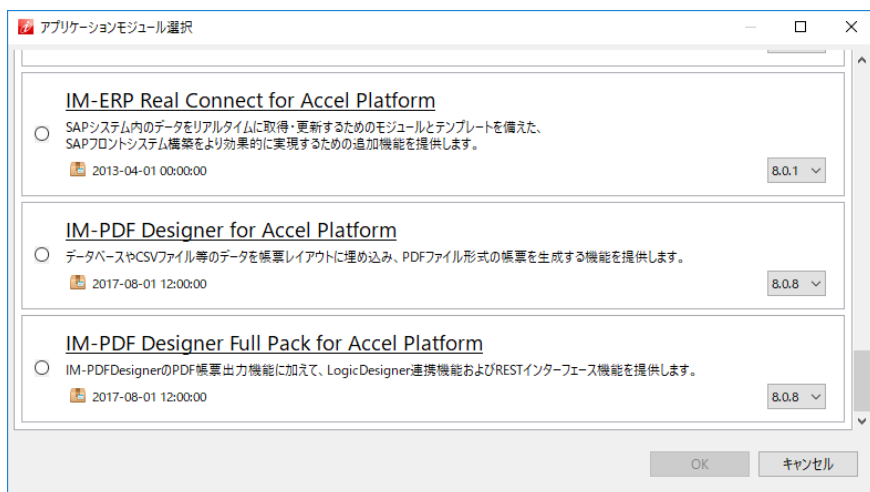
3. ポップアップ表示されたウィザード画面内の「プロジェクト名」に半角英数字の任意のプロジェクト名を入力します。
入力後、「次へ (N)」 をクリックします。



4. 利用するプロダクト及びバージョンを選択します。
選択後、「次へ (N)」をクリックします。



5. 利用するアプリケーションを選択します。([PDF-Designer] - [x.x.x] を選択します。x.x.xはバージョン番号です。)
選択後、「次へ (N)」をクリックします。



注意

下記アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。

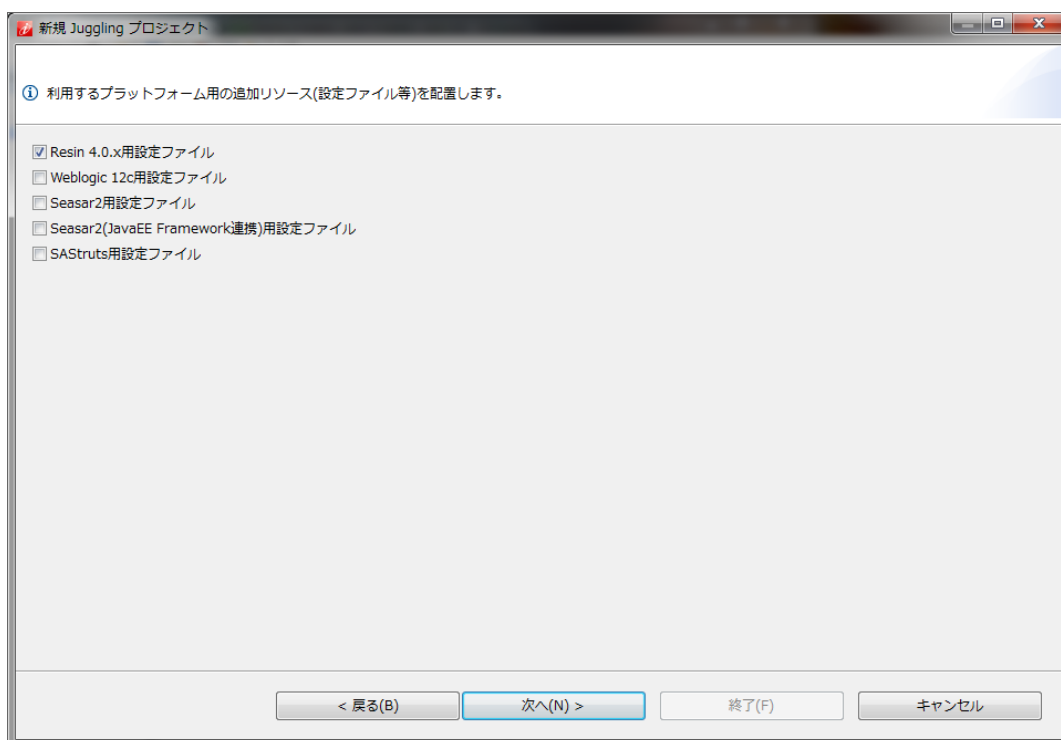
- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform



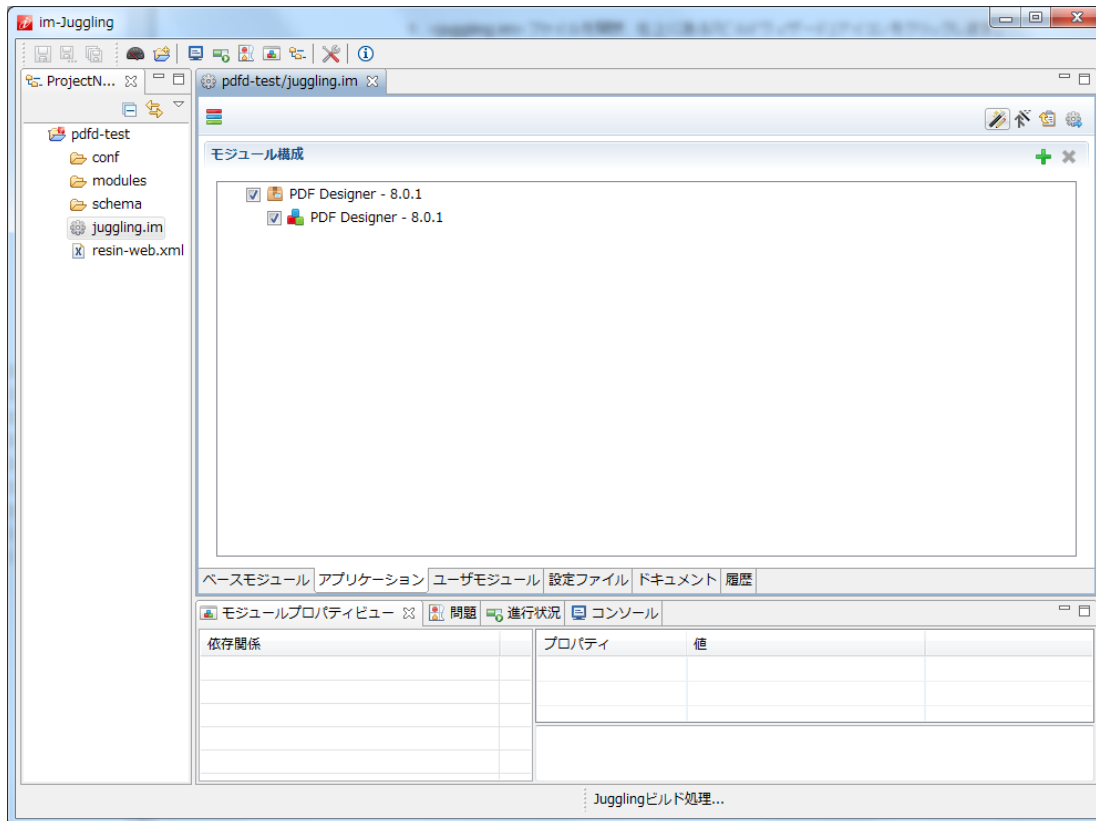
注意

IM-PDFDesigner for Accel Platform と IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform は同時に二つとも選択しないでください。

6. 利用するオペレーティングシステム用の追加リソース(設定ファイル等)を選択します。
選択後、「次へ (N)」をクリックします。



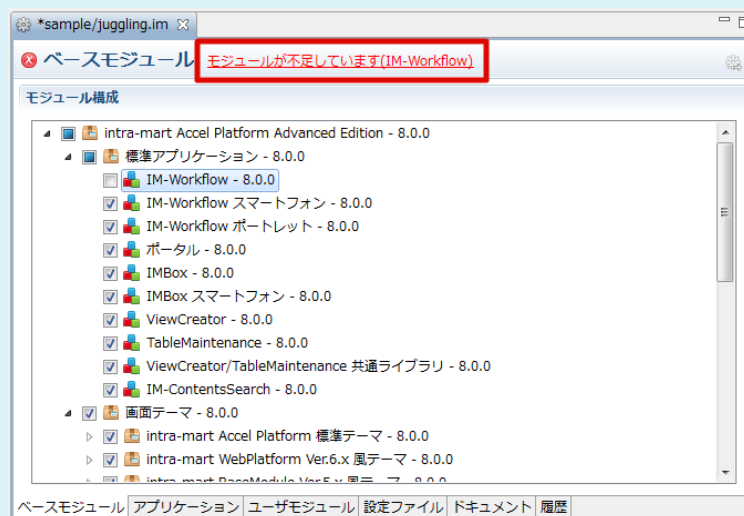
7. 最後に「終了 (F)」をクリックします。



コラム

画面上部にエラーメッセージが表示される場合

モジュール単位・アプリケーション単位で依存関係を持っています。



以下の手順で必要な設定を追加することができます。

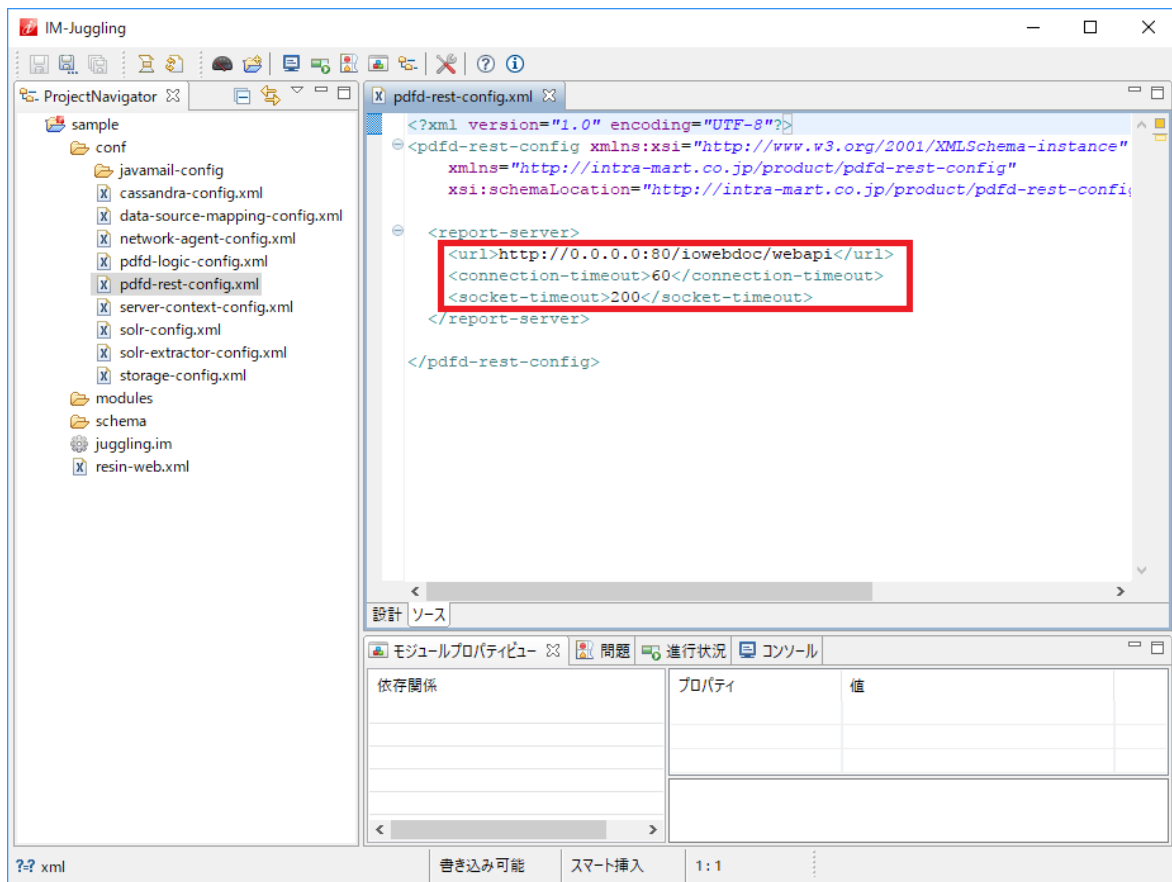
1. メッセージをクリックします。
2. 「依存関係の解決」画面で「OK」をクリックします。

設定ファイル

- pdfd-rest-config.xml
 - <report-server>/<url>
 - <report-server>/<connection-timeout>
 - <report-server>/<socket-timeout>
- pdfd-logic-config.xml

REST Service の設定ファイル（pdfd-rest-config.xml）を必要に応じて編集します。

1. IM-Juggling の「ProjectNavigator」内の <（プロジェクト名）/conf/pdfd-rest-config.xml> ファイルをダブルクリックで開き、「ソース」タブを選択します。
2. 必要に応じて値を変更します。



<report-server>/<url>

PDF帳票サーバのアプリケーションのURLを表します。

- 必須の設定項目です。
- 初期値は http://0.0.0.0:80/iowebdoc/webapi です。

<report-server>/<connection-timeout>

PDF帳票サーバのアプリケーションへの接続が確立されるまでの待機時間を表します。

- 単位は 秒 です。
- 初期値、デフォルト値は 60 です。

<report-server>/<socket-timeout>

PDF帳票サーバのアプリケーション接続後の待機時間を表します。

- 単位は 秒 です。
- 初期値、デフォルト値は 200 です。

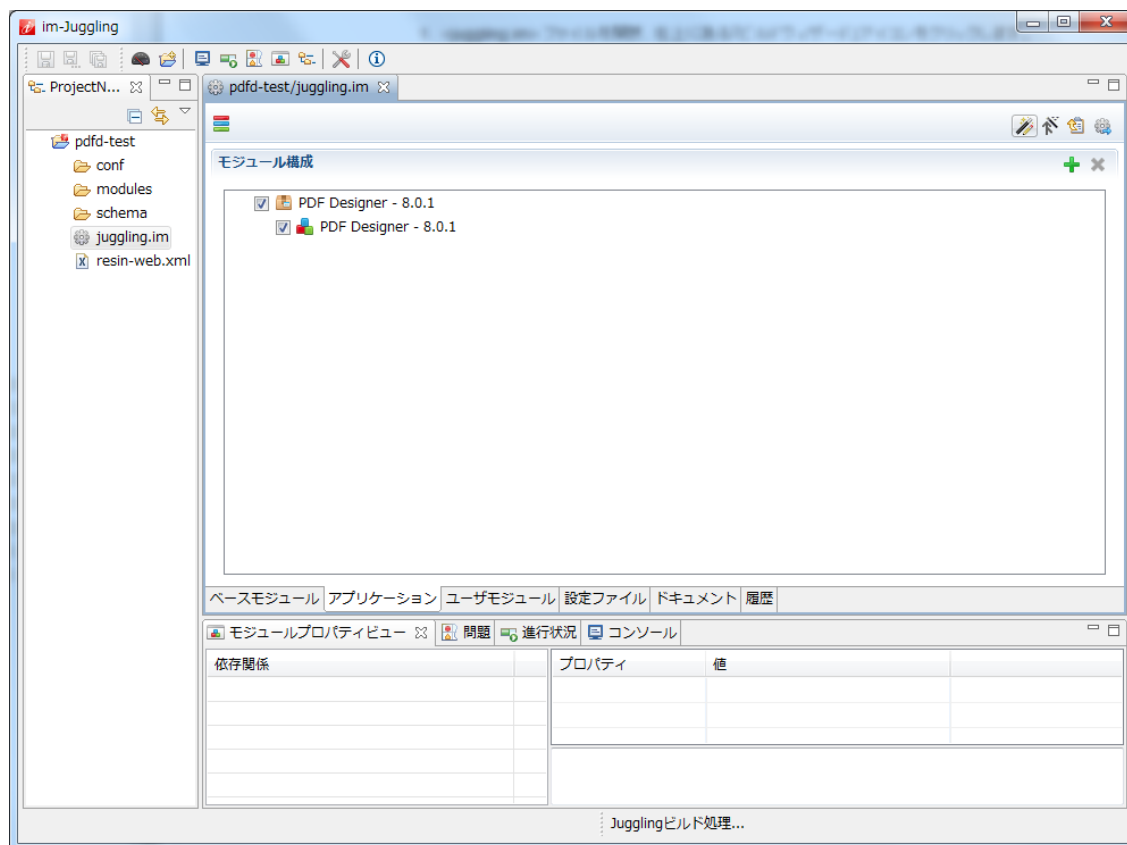
pdfd-logic-config.xml

IM-LogicDesigner連携 の設定ファイルです。

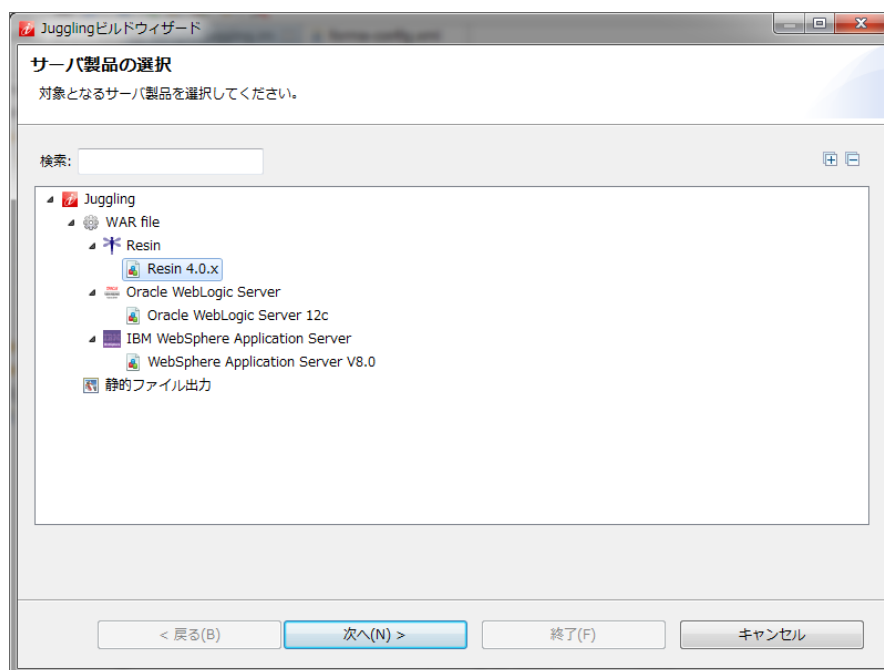
設定の内容、変更方法については「IM-LogicDesigner連携 操作ガイド」を参照してください。

warファイルの出力

1. <juggling.im> ファイルを開き、右上にある「ビルドウィザード」アイコンをクリックします。



2. 「サーバ製品の選択」画面で対象となるサーバを選択し、「次へ」をクリックします。



3. 「基本設定」画面で設定を行い、「次へ」をクリックします。



利用種別

- 製品版
ライセンスを購入されたお客様はこちらを選択してください。
- 評価版
評価版です。
正規に使用する場合はライセンスを購入してください。

実行環境

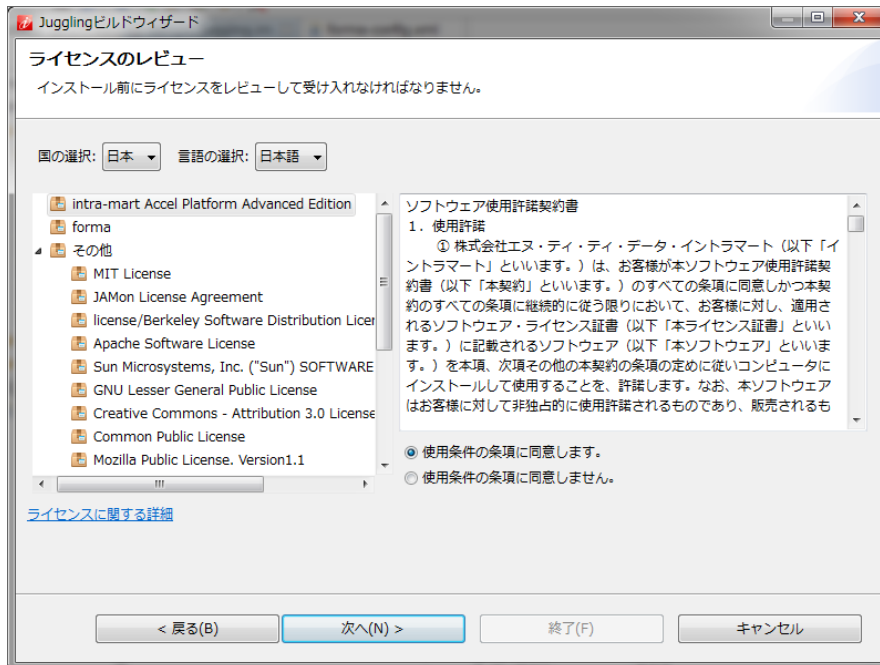
- 単体テスト環境
単体テスト環境を表します。
JUnitなどを利用する場合を想定しています。
パフォーマンスに関しては考慮しません。
- 結合テスト環境
結合テスト環境を表します。
IDEを使用したテスト環境などを想定しています。
一般的に最も利用される環境を想定しています。
必要最低限の動作環境です。
- 統合テスト環境
統合テスト環境を表します。
本来の実行環境 (APサーバ) を使用した統合テスト環境を想定しています。
カットオーバー直後等でもこの環境を利用することを想定しています。
- 運用環境
運用環境を表します。
パフォーマンスを考慮した動作環境です。



注意

「warファイル出力先フォルダ」には、実行するユーザの権限があるフォルダを指定してください。

4. 「ライセンスのレビュー」画面で内容を確認し、同意頂ける場合は「使用条件の条項に同意します。」を選択し、「終了」をクリックします。



5. 「設定項目の確認」画面で内容を確認し、「終了」をクリックします。
Jugglingビルドウィザード画面が立ち上がり、ダウンロードが開始されます。
ダウンロードに時間がかかりますので、完了するまで操作を行わないでください。



6. warファイルが指定の場所に出力されると、ビルドウィザード画面が閉じます。
指定したディレクトリにwarファイルが出力されます。
7. IM-Juggling を終了してください。

テナント環境 の構築

以下の手順に沿って作業してください。

テナント環境 の構築

項目

- システム管理者によるテナント環境の構築
 - テナント環境セットアップ
 - ライセンスの登録
 - ポートレットの初期化
 - サンプルデータセットアップ
 - 一般ユーザ管理
- 一般ユーザによる操作
 - 一般ユーザログイン

システム管理者によるテナント環境の構築

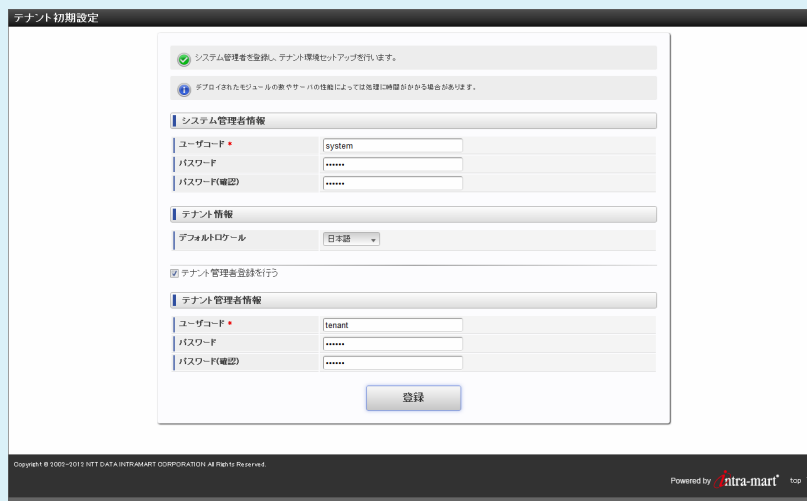
テナント環境セットアップ

1. Webブラウザより システム管理者ログイン画面「<http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/system/login>」へアクセスします。

コラム

初回アクセス時は、システム管理者が未登録のため「テナント初期設定」画面へ自動的に遷移します。

- 「テナント初期設定」画面で英語が表示される場合があります。
日本語で表示したい場合は、ブラウザの言語設定を「日本語(ja)」に変更してください。



2. システム管理者情報、テナント情報、テナント管理者情報を入力し「登録」ボタンをクリックします。
テナント環境の構築処理が行われます。

コラム

テナント管理者はテナント環境セットアップ後、システム管理者のメニュー「一般ユーザ管理」から登録することもできます。

3. 処理が正常に完了すると、次の結果画面が表示されます。
正常終了していることを確認し、左上の「ホーム」をクリックします。

セットアップ結果

ホーム システム管理者の登録、テナント環境セットアップ、テナント管理者の登録が完了しました。 ログアウト

処理結果	モジュールID	インポート種別	インポート対象名	エラーメッセージ
✓	im_admin	DDL	products/import/basic/im_admin/im_admin-ddl.sql	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_en.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_ja.xml	-
✓	im_admin	DML	products/import/basic/im_admin/im_admin-role_zh_CN.xml	-
✓	im_authz	DDL	products/import/basic/im_authz/im_authz-ddl.sql	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_en.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_ja.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-role_zh_CN.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-resource-group.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-resource.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-subject-group.xml	-
✓	im_authz	DML	products/import/basic/im_authz/im_authz-policy.xml	-
✓	im_calendar	DDL	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-ddl.sql	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_en.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_ja.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-role_zh_CN.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar-day-set.xml	-
✓	im_calendar	DML	products/import/basic/im_calendar/im_calendar-calendar-week-set.xml	-

ライセンスの登録

IM-PDFDesigner を購入されている場合、ライセンスの登録を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「ライセンス管理」をクリックします。
2. 「ライセンスキー登録」からライセンスの登録を行ってください。

ポートレットの初期化

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「ポートレット管理」をクリックします。

システム管理者ホーム ログアウト

システム管理メニュー

システム環境構築

ライセンス管理

テナント環境セットアップ

システム管理

一般ユーザ管理

サービス情報

アプリケーションロック一覧

ファイル操作

ポートレット管理

ポータル設定

Copyright © 2002-2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION All Rights Reserved.

Powered by intramart top ↑

左上の「標準ポートレット初期化」をクリックして実行してください。

ポートレットアプリケーション一覧

標準ポートレット初期化

コンテキスト	ポートレット名	登録日
imart	AsyncPagePortlet, GoogleGadgetPortlet, InternetPortlet, JvaseefwPortlet, JspPortlet, LinkSetPortlet, MenuGroupPortlet, PresentationPagePortlet, RssPortlet, SystemNoticePortlet	2012/06/26

サンプルデータセットアップ

- サンプルデータをご利用される場合は、以下の手順を実行してください。

この作業で IM-PDFDesigner のサンプルとして、以下の項目が追加されます。

サンプルデータ (メニュー含む)

PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper)

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「テナント環境セットアップ」をクリックします。



2. 「サンプルデータセットアップ」をクリックします。



コラム

【参考】テナント環境・サンプルデータセットアップの途中で失敗した場合

接続先のデータベースのデータを削除し、再度テナント環境セットアップを行ってください。

一般ユーザ管理

- PDFデザイナー管理者ロール (pdfsuper) を一般ユーザに追加します。
この操作では、デフォルトユーザの「上田」にロールを追加する手順を説明します。



コラム

サンプルデータセットアップを必ず実行してからこの作業を行ってください。

1. システム管理者のメニュー画面を表示します。
メニューから「一般ユーザ管理」をクリックします。



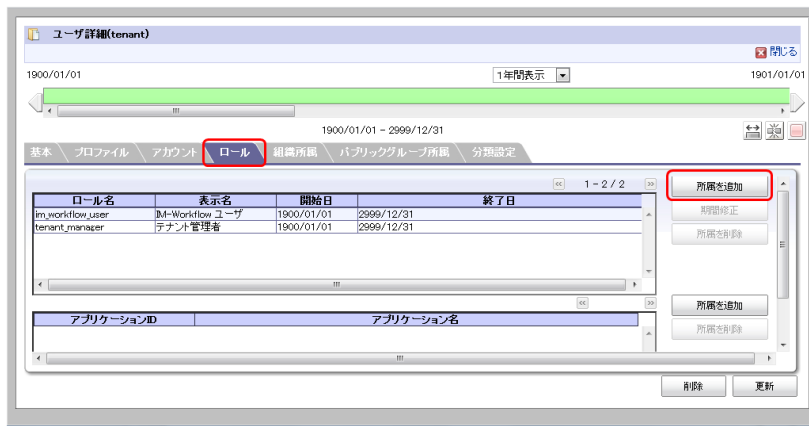
2. 何も入力せずに「検索」をクリックします。



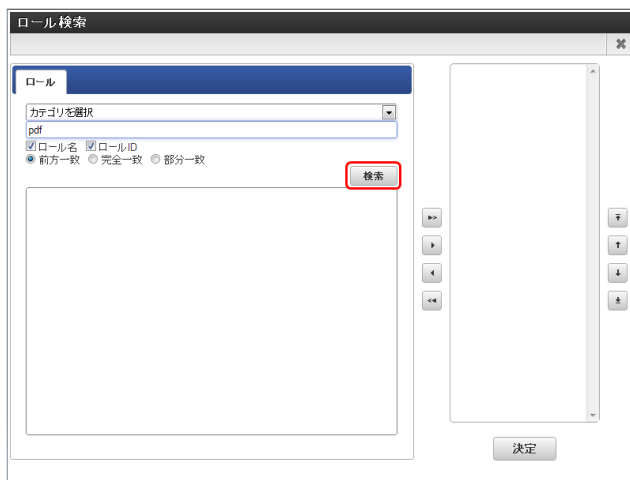
3. 検索結果が下部に表示されたら、[上田]の編集ボタンをクリックします。



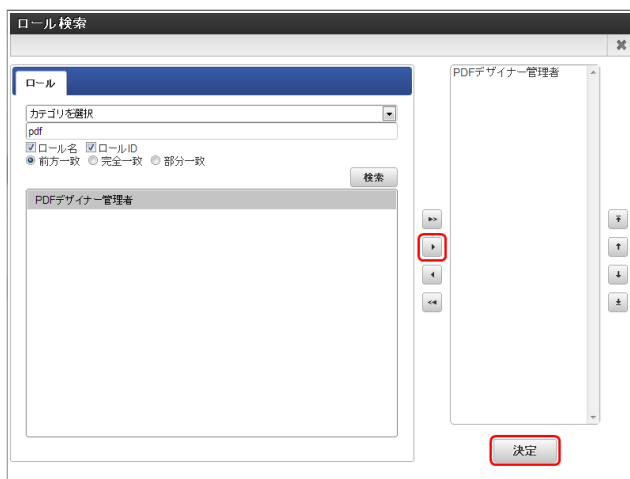
4. ユーザ詳細画面から「ロール」タブボタンをクリックし、ロール一覧を表示します。
「所属を追加」ボタンをクリックします。



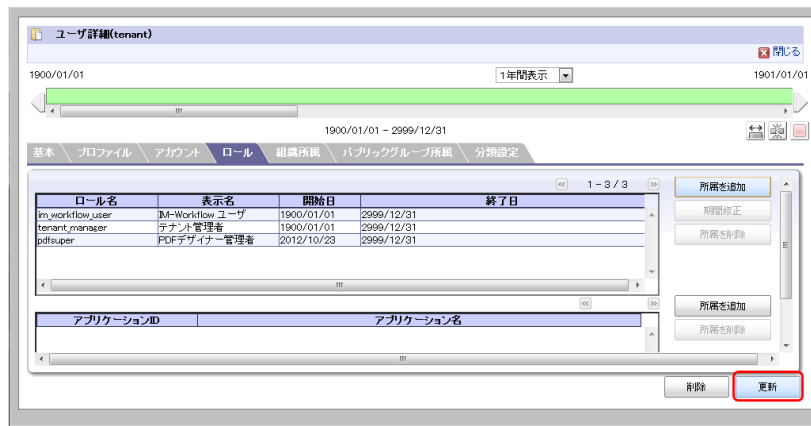
5. ロール検索画面 (新規画面) が表示されるので、「pdf」と入力後、「検索」ボタンをクリックします。



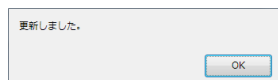
6. 「PDFデザイナー管理者」が下部画面に表示されます。
「PDFデザイナー管理者」を選択後、右ボタンをクリックして追加します。
「決定」ボタンをクリックします。



7. ユーザ詳細画面に戻ります。
「PDFデザイナー管理者」が追加されたことを確認して、「更新」ボタンをクリックします。



8. 「OK」 ボタンをクリックします。



一般ユーザによる操作

一般ユーザログイン

1. Webブラウザより 一般ユーザログイン画面「<http://ホスト名:ポート番号/コンテキストパス/login>」へアクセスします。



2. 「ueda」にてログインすると、トップページのメニューに「PDFモジュール」が追加されます。



3. メニュー「PDFモジュール」より、サンプル・チュートリアルの実行が可能です。



PDF帳票サーバでの作業

PDF帳票サーバでの作業内容を説明します。

目次

- [IOWebDOC のインストール](#)
- [ライセンス登録](#)
- [環境設定](#)
- [JDK のインストール](#)
- [Apache Tomcat のインストール](#)
- [Java I/F の配置](#)
 - [Windows Server \(64 bit\) 編](#)
 - [Red Hat Enterprise Linux \(64 bit\) 編](#)
- [warファイルのデプロイ](#)
- [Apache Tomcat の起動](#)

IOWebDOC のインストール

以下の手順に沿って作業してください。

IOWebDOC のインストール

IOWebDOC とは

IOWebDOC は、PDFファイル作成ランタイム（実行モジュール）です。
IM-PDFDesigner は、IOWebDOC と連携してPDFファイルを作成します。



注意

古いバージョンの IOWebDOC がインストールされている場合は、古いバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

フォルダ構成

IOWebDOC のインストーラが同梱されているフォルダ構成を説明します。

フォルダ名	ファイル名	内容
win64	webdoc_runtime-x.x.x-win64.zip	Windows Server（64 bit）版 IOWebDOC セットアップファイル
lnx64	webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar	Red Hat Enterprise Linux（64 bit）版 IOWebDOC セットアップファイル

フォルダ名	ファイル名	内容
tool	webdoc_tool-x.x.x-win32.zip / webdoc_tool-x.x.x-win64.zip	IOWebDOC レイアウトデザインツール
javaIf	iowebdoc.jar	IOWebDOC Java I/F

【重要】 IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) について

IOWebDOC は、

- IOWebDOC (1.9.x)
- IOWebDOC (3.x.x)

の2種類から選択できます。

IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) の違い

- 扱えるデータの文字コードが異なります。 IOWebDOC (1.9.x) は Shift_JIS です。 IOWebDOC (3.x.x) は UTF-8 です。
設定方法は後述しておりますので、手順に従って設定してください。
- 帳票エンジン（ IOWebDOC ）の製品バージョン / 帳票エンジン（ IOWebDOC ）のインストーラそのものが異なります。
- 帳票レイアウトファイル（dlf/iod/def/clf/ddl等...）の形式が異なります。後述しておりますので、保存する際に IOWebDOC (3.x.x) に対応した形式で保存してください。

IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) の判別方法

Windows環境の場合

帳票エンジン（ IOWebDOC ）がインストールされたマシンにログインし、コマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

```
C:\> iowebver
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x ← 実際はダイアログに表示されます。
```

バージョン番号が、1.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (1.9.x) 、
バージョン番号が、3.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (3.x.x) です。

Linux環境の場合

帳票エンジン（ IOWebDOC ）がインストールされたマシンにログインし、ターミナルから以下のコマンドを実行します。

```
# $IODOC/bin/iowebver
# IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x
```

バージョン番号が、1.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (1.9.x) 、
バージョン番号が、3.x.x.x の場合は、 IOWebDOC (3.x.x) です。

【重要】 IOWebDOC (1.9.x) と IOWebDOC (3.x.x) どちらをインストールすべきかの判断基準

IOWebDOC (1.9.x) をインストールする場合	既存システムのリプレースまたはバージョンアップで、以前より IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用しているシステムの場合
	日本国内のみでの利用であり、文字コードとして Shift_JIS の範囲内の利用で問題がないシステムの場合
IOWebDOC (3.x.x) をインストールする場合	IM-PDFDesigner for Accel Platform を利用したシステムを新規に構築する場合
	UNICODE文字の出力が必須のシステムの場合

入力ファイルのエンコーディング

IM-PDFDesigner for Accel Platform で利用できるエンコーディングは、次の通りです。

- IOWebDOC (1.9.x) の場合は、 Shift_JIS です。
- IOWebDOC (3.x.x) の場合は、 UTF-8（BOMあり） です。



コラム

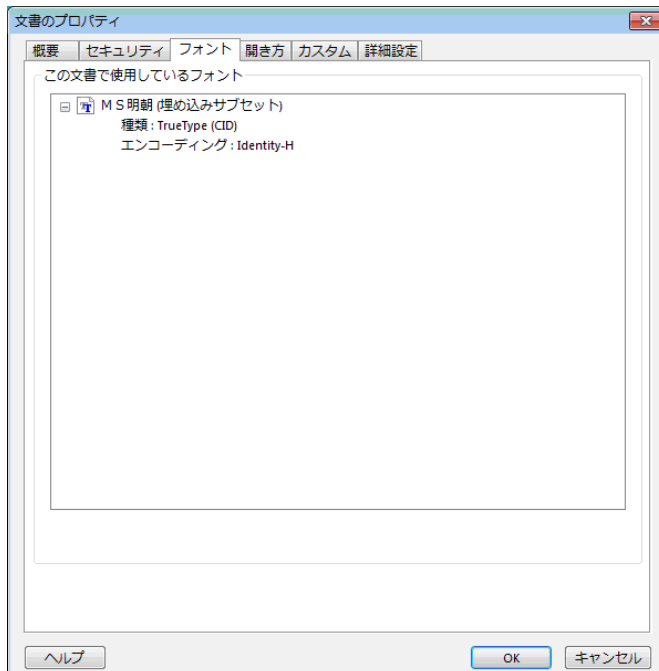
エンコーディングが UTF-8（BOMあり）の場合は、実装水準1に対応しています。結合文字は含まれません。

その他注意事項

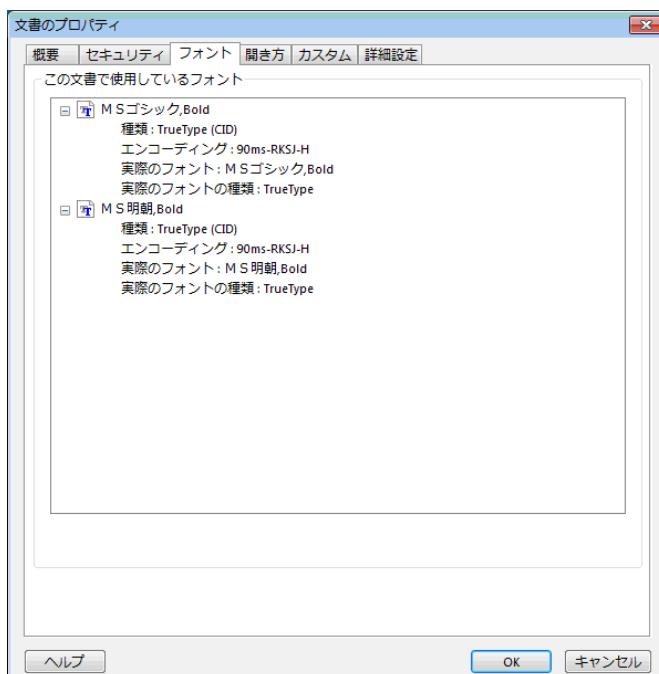
正しく多言語のPDFファイルが出力されているか確認する方法

正しく多言語のPDFファイルが出力出来ているかどうかに関しては、以下の2点を確認してください。

1. PDFファイルにフォントが埋め込まれているかどうかを確認する。
生成されたPDFファイルをAdobeReaderで開いてください。ファイル→プロパティ→フォントタブを選択



正しく設定されている場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）と表示されています。



正しく設定されていない場合、フォント名の右に（埋め込みサブセット）の文字がありません。

2. 日本語以外の固有文字が正しく出力されているかを確認する。
各言語固有の文字は、IM-PDFDesigner V7互換バージョンでは、フォントを埋め込んでも表示されません。正常に設定出来ているのかの確認に使用してください。

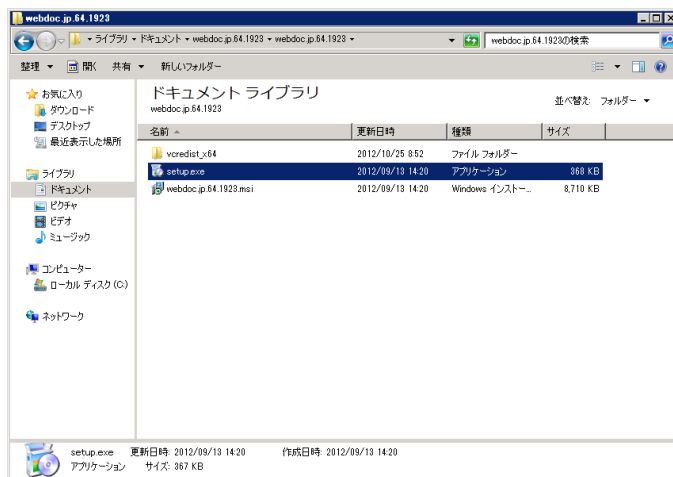
各オペレーティングシステム別にインストールを行います。

IOWebDOC のインストール - Windows Server (64 bit) 編

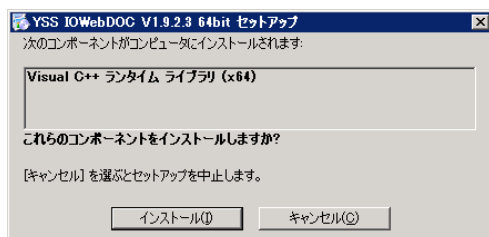
IOWebDOC を Windows Server にインストールする方法を説明します。

インストール手順

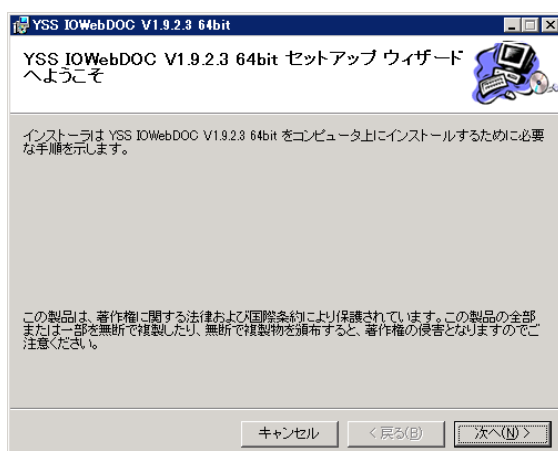
1. win64 フォルダの webdoc_runtime-x.x.x-win64.zip を 任意のフォルダに解凍します。
2. 解凍後のフォルダ内にある setup.exe を実行します。UACが有効な環境では、「右クリック→管理者として実行」でインストールしてください。



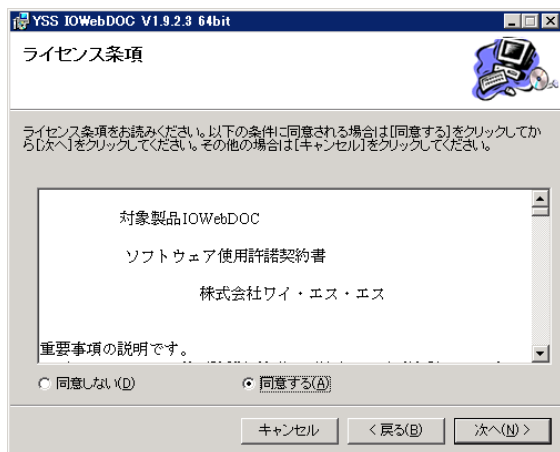
3. Visual C++ ランタイム ライブラリ (x64) を追加インストールする必要がある場合、下記画面が表示されます。表示されない場合は、次の手順 4. に進んでください。
「インストール(I)」をクリックします。



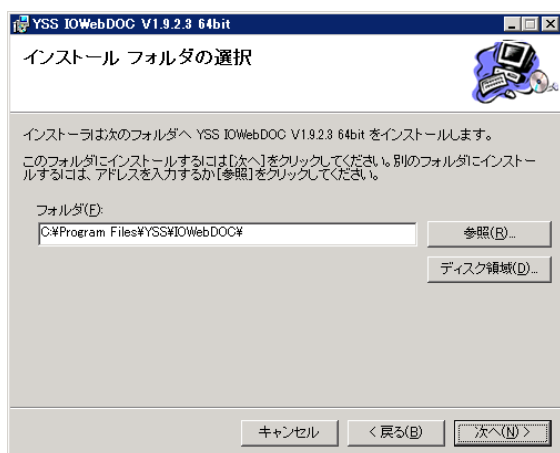
4. IOWebDOC をインストールします。
「次へ(N)」をクリックします。



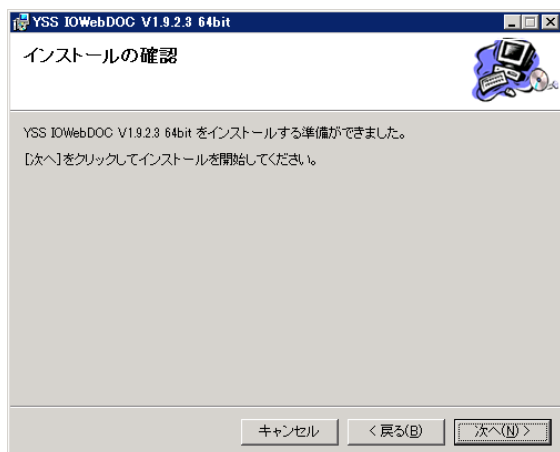
5. ライセンス条項の内容を確認し、同意する場合は「同意する(A)」を選択して「次へ(N)」をクリックします。



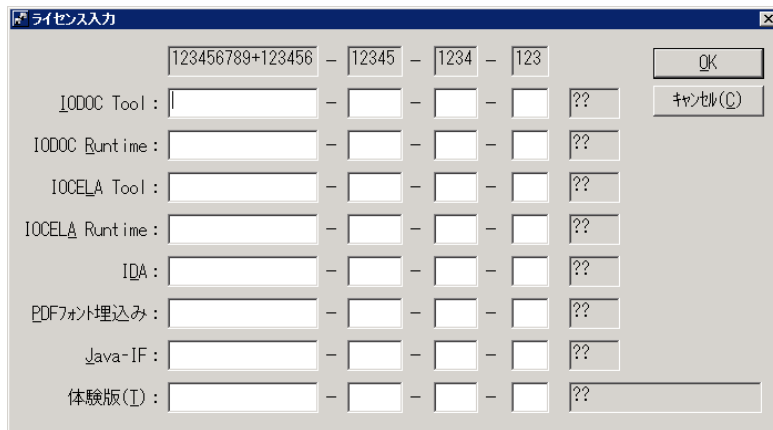
6. インストール フォルダを指定して、「次へ(N)」をクリックします。



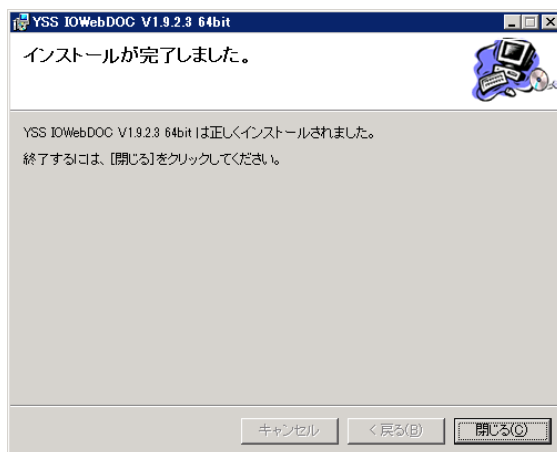
7. 「次へ(N)」をクリックします。



8. ライセンスを入力します。
「OK」をクリックします。



9. 「閉じる(C)」をクリックします。



以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

IOWebDOC のインストール - Red Hat Enterprise Linux （64 bit）編

IOWebDOC を Red Hat Enterprise Linux にインストールする方法を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/
```

インストール手順

1. IOWebDOC セットアップファイルをコピーします。
lnx64 フォルダの webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar を /usr/local/ にコピーします。

```
$ cp [ディレクトリ]/lnx64/webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar /usr/local/.
```

2. 圧縮ファイルを解凍します。

```
$ cd /usr/local/
$ tar xvf webdoc_runtime-x.x.x-linux64.tar
```



コラム

Resin を実行するユーザにて解凍します。
解凍された各ファイルの権限に、解凍したユーザ権限 (実行、参照権限) が付与されます。

3. 解凍されたディレクトリの名称を *webdoc* に変更します。

```
$ mv webdoc_runtime-x.x.x-linux64 webdoc
```

4. ライセンスファイルを入力します。

webdoc/etc/license.txt にライセンスを入力します。

```
$ vi webdoc/etc/license.txt
```

webdoc/etc/license.txt

```
1  #
2  # IODOC/IOWebDOC License file
3  #
4
5  #Sample
6  #6d8b01ud00030d4b-ABCDE-1234-abc ←先頭に"#"を追加するとコメント行となります。
7  #                               次行からライセンスを入力して下さい。
```

5. 本体のライセンスとは別に、フォント埋め込み用のライセンスを入力します。

以下のライセンスを入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

```
317e17lsAC000507-pc779-0808-019
```

以上で、IOWebDOCのインストールは完了です。

ライセンス登録

以下の手順に沿って作業してください。

ライセンスの再登録

体験版ライセンスの有効期限切れなどの場合には、ライセンスの再登録が必要です。

以下、ライセンスの再登録の手順を説明します。

Windows Server (64 bit) 編

「スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→ライセンス→ライセンスの入力」 ボタンをクリック

ライセンス入力

123456789+123456 - 12345 - 1234 - 123

ODOC Tool : - - - - - ??

ODOC Runtime : - - - - - ??

IOCELA Tool : - - - - - ??

IOCELA Runtime : - - - - - ??

IDA : - - - - - ??

PDFフォント埋込み : - - - - - ??

Java-IF : - - - - - ??

体験版(T) : - - - - - ??

OK

キャンセル(C)

何もライセンスが入っていない場合、上記の画面が表示されます。

体験版ライセンス番号は期限ごとに異なります。一番右の欄の横に「OK」と出れば使用可能です。

正規のライセンスは上記の赤い欄に入力します。（欄が赤くなる訳ではありません）。



コラム

FullPack版では、「IDA」の欄(上記緑色の欄)への入力も必要です。

「PDFフォント埋め込み」の欄(上記黄色の欄)への入力も必要です。こちらに関しては以下のライセンスを黄色の欄に入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

d89717wrAC000507-pc777-0808-019

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編

1. viエディタ等で /usr/local/webdoc/etc/license.txt を修正します。

```
$ vi /usr/local/webdoc/etc/license.txt
```

2. 古いライセンスをコメントアウトします。

```
#
# IODOC/IOWebDOC License file
#

#ライセンス入力（合計 3行分のライセンス（IODoc/IOCela/JavaIF）の入力が必要です）
#IODoc_license-ABCDE-1234-abc ←先頭に"#"を入れるとコメント行となる
#IOCela_license-ABCDE-1234-abc
#JavaIF_license-ABCDE-1234-abc
```

3. 次行からラインセンスを入力します。



コラム

1行に1ライセンス分を入力します。合計で 3行分のライセンス（IODoc/IOCela/JavaIF）の入力が必要です。



コラム

FullPack版では、上記の他にIDA分のライセンスが必要です。（合計で 4行分）

4. 本体のライセンスとは別に、フォント埋め込み用のラインセンスを入力します。以下のライセンスを入力してください。このライセンスはAccelPlatform対応版 限定で利用可能です。

317e17lsAC000507-pc779-0808-019

以上でライセンスの再登録は完了です。



コラム

IOWebDOC が既にインストール済みで、正常に稼働している場合は本作業は不要です。

環境設定

以下の手順に沿って作業してください。

環境設定

IM-PDFDesigner の環境設定を説明します。

Windows Server (64 bit) 編

環境変数

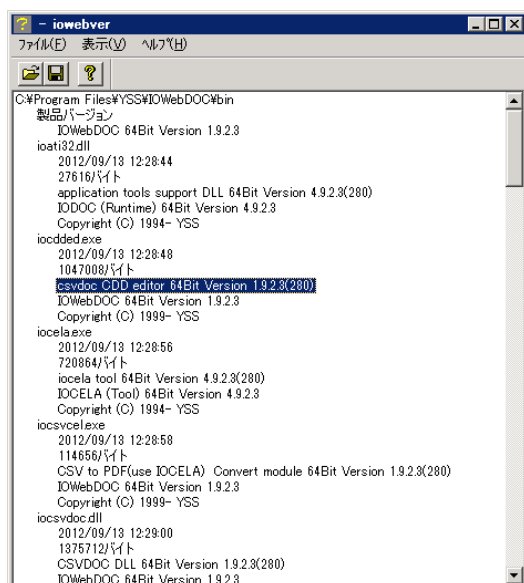
1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
以下の表に従い、環境変数を設定してください。

変数名	設定内容
PATH	%IODOC%/bin を追加

2. コマンドプロンプトにて以下のコマンドを入力します。

```
> iowebver
```

3. 以下の画面が表示されたら環境設定は完了です。
画面が表示されない場合は、設定内容に間違いがないか確認をし、再度 コマンドを実行してください。



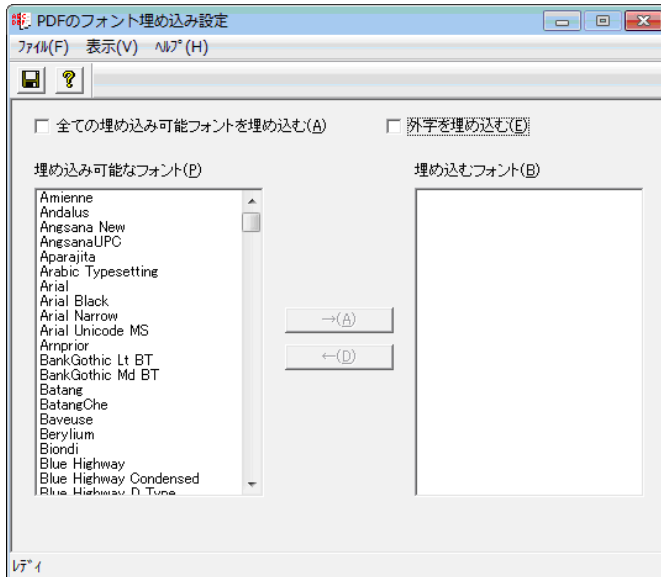
**コラム**

環境変数は、Resin を実行するユーザの環境変数に追加設定してください。
 環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。
 [システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をしてください。

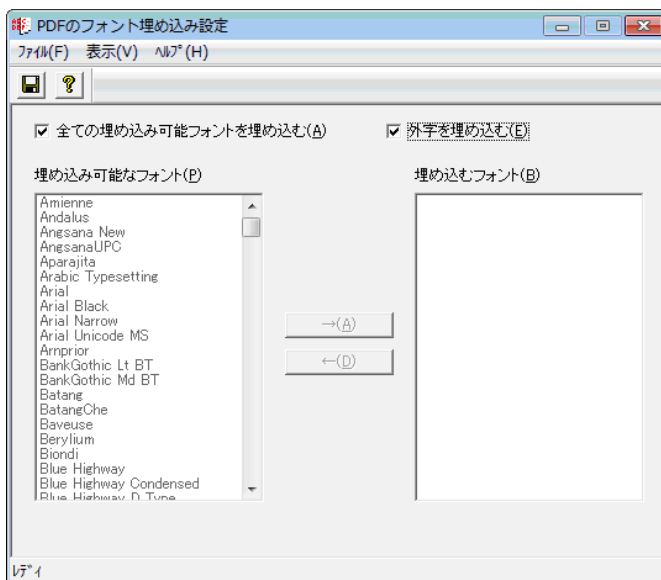
フォント埋め込み・外字オプションの設定

多言語をPDFファイルに埋め込むためには、PDFファイルにフォントを埋め込む設定が必要です。
 以下に設定方法をご説明させていただきます。

「スタート→すべてのプログラム→YSS IOWebDOC→PDFフォント埋め込み」



上記の画面が起動します。



上記のように「全ての埋め込み可能フォントを埋め込む」「外字を埋め込む」にチェックをしてください。
 その上で、「ファイル→上書き保存」の指定 または 「保存ボタン」をクリックを行ってください。

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編

環境変数

1. IOWebDOC を利用するための環境設定を行います。
 以下の表に従い、環境変数を設定してください。

変数名	設定内容
IODOC	%IODOC% (末尾の"/"スラッシュなし)

```
$ IODOC=/usr/local/webdoc
$ export IODOC
```

2. 各環境変数を設定します。
%IODOC%/iodoc.sh に実行権限を追加して実行します。

```
$ chmod +x /usr/local/webdoc/iodoc.sh
$ ./usr/local/webdoc/iodoc.sh
```



コラム

iodoc.sh を実行すると下記の環境変数が追加されます。

PATH	\$IODOC/bin 追加
LD_LIBRARY_PATH	\$IODOC/lib 追加

3. 環境設定が正しく設定できていることを確認します。
バージョンが下記のように表示されることを確認してください。

```
$ iowebver
IOWebDOC 64bit Version x.x.x.x(linux/sjis)
```

ファイルの権限設定

Resin を実行するユーザ以外で解凍してしまった場合、または権限ユーザを変更する場合の手順を説明します。



コラム

Windows環境にインストールしている場合、この設定は必要ありません。

実行権限の設定

binディレクトリ内のすべてのファイルに実行(execute)権限を設定してください。

- a. IOWebDOC をインストールしたディレクトリに移動します。
- b. binディレクトリ に移動します。
- c. すべてのファイルに実行権限を付与します。

```
$ cd /usr/local/webdoc/
$ cd bin/
$ chmod +x *
```

参照権限の設定

以下に示すファイルに参照(Read)権限を設定してください。

- libディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定してください。
- etcディレクトリ内のすべてのファイルに参照権限を設定してください。

```
$ cd /usr/local/webdoc/

$ cd lib/

$ chmod +r *

$ cd etc/

$ chmod +r *
```

なお、サブディレクトリがある場合は、サブディレクトリおよびサブディレクトリ内の ファイルにも同様の権限を設定してください。

フォント埋め込み・外字オプションの設定

以下は、IOWebDOC (3.x.x) 利用時は、フォントの埋め込みが必須です。

文字コードについて

- 文字コードはUTF-8を前提としているため、
- コマンド引数の文字列、コマンド引数で指定するファイルの
- 文字コードはUTF-8にしてください。
- また、出力されるログファイルは全てUTF-8です。

制限事項

- フォントは etc/fonts/pfont.txt に登録したフォントのみ使用できます。
- 登録外のフォントは etc/prop/jp.sjis/locale.prop の設定に従い置換します。
- etc/prop/jp.sjis/locale.prop の wfontzhz に設定されたフォント（デフォルトではIPA明朝）が etc/fonts/pfont.txt に登録されていない場合はエラーです。

JDK のインストール

1. PDF帳票サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
以下は参考としてJDK Ver.8.x の前提で記述しています。
基本は intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと合わせてください。
2. JDKをダウンロードします。JDKのインストーラは、オラクル社のサイトからダウンロードできます。
<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html>（2020年 8月 現在）
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。
インストールに関する詳細は、オラクル社のサイトを参照してください。
4. インストール完了後に、コマンドラインに以下を入力しリターンキーを押します。

```
> java -version
```

5. コマンドラインに Java のバージョン情報が表示されたら、インストールは成功です。

Apache Tomcat のインストール

1. PDF帳票サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
以下は参考として、Apache Tomcat Ver.8.5.x の前提で記述しています。
2. Apache Tomcat のインストーラをダウンロードします。
<http://tomcat.apache.org/>（2020年 8月 現在）
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。
インストールに関する詳細は、該当ドキュメントを参照してください。
4. 各サーバの環境に合わせて、Apache Tomcat を適宜 設定してください。
CLASSPATH を下記のとおりを設定してください。
 - サービス起動の場合

%CATALINA_HOME%/bin/tomcat8w.exe を実行

設定箇所	設定内容
[Java]タブのClasspath欄	%CLASSPATH%

- バッチ起動の場合

%CATALINA_HOME%/bin/catalina.bat を開き CLASSPATH を修正して保存する

設定箇所	設定内容
CLASSPATH	%CLASSPATH%

5. Apache Tomcat のポート番号は Resin サーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
Apache Tomcat のポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。



コラム

WEBアプリケーションサーバは、Apache Tomcat Ver.8.5.x にて検証しています。

Java I/F の配置

Windows Server (64 bit) 編

JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %CATALINA_HOME%/lib にコピーします。

Red Hat Enterprise Linux (64 bit) 編

JavaIF フォルダの iowebdoc.jar を %CATALINA_HOME%/lib にコピーします。

```
$ cp [ディレクトリ]/JavaIF/iowebdoc.jar %CATALINA_HOME%/lib/
```

warファイルのデプロイ

1. imart/server フォルダを開き、対象モジュールの war ファイルを Apache Tomcat の WEB アプリケーション配置ディレクトリにコピーします。
通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。

モジュール	warファイル
IM-LogicDesigner連携	impdf.war
REST Service	iowebdoc.war



コラム

複数台の PDF帳票サーバ を用意している場合は、すべての PDF帳票サーバ に対して実施してください。

Apache Tomcat Ver.8.5.x にて検証しています。



注意

war ファイルのデプロイ時には、WEB アプリケーションサーバ（Apache Tomcat 等）を停止してください。

Apache Tomcat の起動

1. Apache Tomcat を起動してください。



コラム

Apache Tomcat 起動中のログに異常（Exceptionなど...）がないことを確認してください。

管理者権限（Administrator）のあるユーザでの起動が必須です。



コラム

本構成の場合、PDF帳票サーバの構築と intra-mart Accel Platform サーバでの作業と、両方の作業が必要です。

インストーラ（IOWebDOC）のファイル名が変更されました。

（ファイル名の X の部分は IOWebDOC のバージョン番号、B の部分は bit数（32または64）です）

OS	種別	IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter（8.0.9）以前	IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Spring（8.0.10）以降
Windows	帳票エンジン	win64/webdoc.jp.BB.XXX.zip	win64/webdoc_runtime-X.X.X.X- winBB.zip
	レイアウトデザイン ツール	tool/webdoc.jp.BB.XXX.zip	tool/webdoc_tool-X.X.X-winBB.zip
Linux	帳票エンジン	lnx64/webdocX.X.X.linux.BB.jp.tar	lnx64/webdoc_runtime-X.X.X.X- linuxBB.tar

帳票エンジン（IOWebDOC）のアンインストール

Windows Server (64 bit) 編

IOWebDOC を Windows Server からアンインストールする方法を説明します。

IOWebDOC のアンインストール

1. [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] 画面を表示します。



2. 下記のプログラムをアンインストールします。
 - YSS IOWebDOC Vx.x.x.x 64bit (x.x.x.xはバージョン番号)
 - Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable (IOWebDOC インストール時に同時にインストールした場合のみ)

環境変数の削除

- 環境変数から IOWebDOC の設定を削除します。

以下の表に従い、設定済みの環境変数を削除します。

変数名	設定内容
PATH	%IODOC%/bin を削除

Java I/F の削除

- iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib から削除します。

以上で、IOWebDOC のアンインストールは完了です。

Red Hat Enterprise Linux (64 bit)編

IOWebDOC を Red Hat Enterprise Linux にアンインストールする方法を説明します。

インストール先を下記ディレクトリとして説明します。

```
/usr/local/webdoc/
```

アンインストール

- IOWebDOC をインストールしたディレクトリ /usr/local/webdoc/ をディレクトリごと削除します。

```
$ rm -r /usr/local/webdoc/
```

Java I/F の削除

- iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib から削除します。

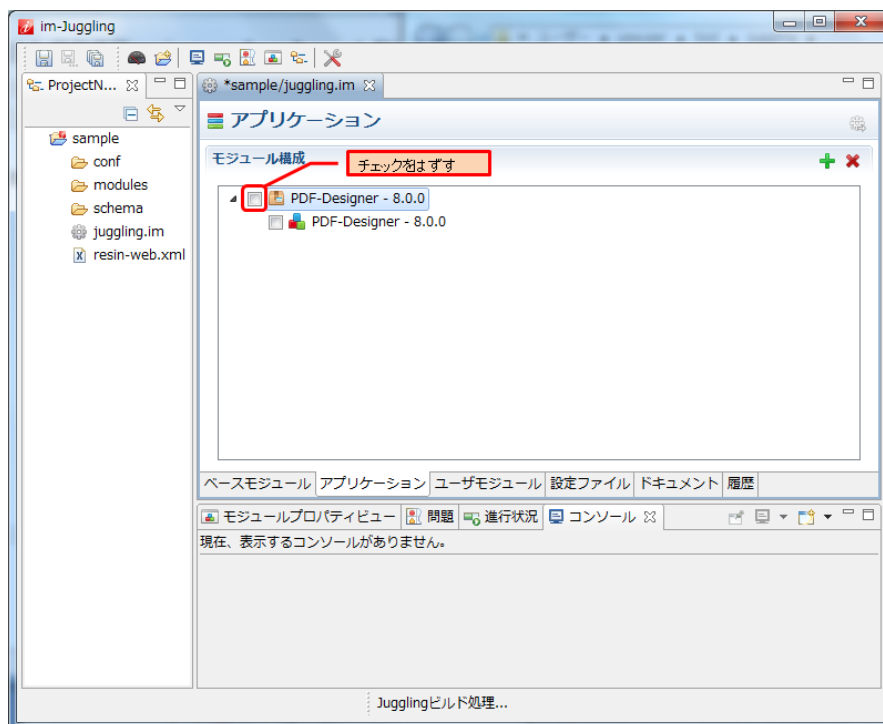
```
$ rm %RESIN_HOME%/lib/iowebdoc.jar
```

以上で、IOWebDOCのアンインストールは完了です。

IM-PDFDesigner for Accel Platform のアンインストール

IM-PDFDesigner は、iAP の追加アプリケーションです。

IM-PDFDesigner のアンインストール方法は、IM-Juggling のプロジェクト作成時にアプリケーションの選択から除外することで、IM-PDFDesigner は削除されます。



コラム

IM-PDFDesigner をインストールすると Storage にサンプルデータが作成されます。

Storage のサンプルデータは、下記ディレクトリにありますので、不要になった場合はディレクトリごと削除してください。

```
%PUBLIC_STORAGE_PATH%/public/storage/pdfd/
```

PDF帳票サーバ のアンインストール

PDF帳票サーバ を構築している場合、PDF帳票サーバ のアンインストールが必要です。

PDF帳票サーバ を構築していない場合は、本作業は不要です。

作業前に...

PDF帳票サーバ での作業内容を説明します。

作業前に、intra-mart Accel Platform および、Tomcat を必ず停止してください。

ResinおよびTomcatが停止していること、warファイルがアンデプロイされている必要があります。

Javaランタイムのアンインストール

1. PDF帳票サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Javaランタイムをアンインストールします。

Tomcat のアンインストール

1. PDF帳票サーバに管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Tomcatをアンインストールします。
インストーラではなく、フォルダを解凍する方法でインストールしている場合は、該当フォルダを削除してください。

IOWebDOC のアンインストール

1. [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] 画面を表示します。



2. 下記のプログラムをアンインストールします。
 - YSS IOWebDOC Vx.x.x.x 64bit（x.x.x.xはバージョン番号）
 - Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable (IOWebDOC インストール時に同時にインストールした場合のみ)

環境変数の削除

- 環境変数から IOWebDOC の設定を削除します。

以下の表に従い、設定済みの環境変数を削除します。

変数名	設定内容
PATH	%IOWEBDOC%\bin を削除

Java I/F の削除

- iowebdoc.jar を %RESIN_HOME%/lib から削除します。



コラム

複数台の PDF帳票サーバ を利用している場合は、すべての PDF帳票サーバ に対して実施してください。



注意

上記作業には、Tomcatが停止している必要があります。

レイアウトデザインツール（IOWebDOC）のアンインストール

1. [コントロールパネル] - [プログラムと機能] 画面を表示します。
2. 下記のプログラムをアンインストールします。
YSS IOWebDOC Vx.x.x.x (x.x.x.xはバージョン番号)
3. 以上で レイアウトデザインツールのアンインストールは完了です。

帳票デザインツール・連携エンジンバージョン



注意

次のバージョンおよびエディションは必ず正しい組み合わせで運用してください。異なる組み合わせは対応していません。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- IM-PDFDesigner for Accel Platform のバージョン
- IM-PDFDesigner for Accel Platform のエディション
- 帳票デザインツールのバージョン
- 連携エンジンのバージョン

- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Summer](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Spring](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Summer](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Spring](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Winter](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Spring](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Summer](#)
 - [IM-PDFDesigner for Accel Platform](#)
 - [IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Spring](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Winter](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Summer](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2015 Spring](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2014 Spring](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2013 Winter](#)
- [IM-PDFDesigner for Accel Platform 2012 Winter](#)

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Summer

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版
	IOWebDOC 1.9.5.2 Linux版
IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2020 Spring

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版
	IOWebDOC 1.9.5.2 Linux版
IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版	IOWebDOC 3.5.8.2 Windows版
	IOWebDOC 3.5.7.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Summer

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版
	IOWebDOC 1.9.5.1.2 Linux版
IOWebDOC 3.5.5.3 Windows版	IOWebDOC 3.5.5.3 Windows版
	IOWebDOC 3.5.4.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.5.3 Windows版	IOWebDOC 3.5.5.3 Windows版
	IOWebDOC 3.5.4.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2019 Spring

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.1.1 Windows版
	IOWebDOC 1.9.5.1.2 Linux版
IOWebDOC 3.5.3.3 Windows版	IOWebDOC 3.5.3.3 Windows版
	IOWebDOC 3.5.3.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.3.3 Windows版	IOWebDOC 3.5.3.3 Windows版
	IOWebDOC 3.5.3.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Winter

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2018 Spring

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Winter

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.0 Linux版
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版	IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner FullPack for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版	IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Summer

IM-PDFDesigner for Accel Platform

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.0 Linux版
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.0 Linux版
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版
	IOWebDOC 1.9.4.1 Linux版
IOWebDOC 3.3.2.5 Windows版	IOWebDOC 3.3.2.5 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版	IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 3.3.2.5 Windows版	IOWebDOC 3.3.2.5 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版	IOWebDOC 3.3.4.1 Windows版
	IOWebDOC 3.3.2.0 Linux版
IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版	IOWebDOC 3.4.0.2 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版
IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版	IOWebDOC 3.5.1.5 Windows版
	IOWebDOC 3.4.0.0 Linux版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2017 Spring

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Winter

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2016 Summer

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2015 Spring

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.3.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.5 Windows版
IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.4.0.6 Windows版
IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版	IOWebDOC 1.9.5.0.2 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2014 Spring

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.2.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.2.6 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2013 Winter

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.2.6 Windows版	IOWebDOC 1.9.2.6 Windows版

IM-PDFDesigner for Accel Platform 2012 Winter

帳票デザインツール	連携エンジン
IOWebDOC 1.9.2.3 Windows版	IOWebDOC 1.9.2.3 Windows版